■ **増設できる機種**（☞ 18、19ページ）
■ お使いいただくには、充電と親機への登録（増設）が必要です。
（☞ 17、20、22ページ）

取扱説明書

ワイヤレスモニター子機

ドアホン/電話両用

品番 **VL-WD612**（ブイ エル ダブリューディー）



Ni-MH
ニッケル水素電池の
リサイクルに
ご協力ください。

確認と準備
通話／モニター
録画／再生
くらしモード
電話/ファクスとの連携
他機器との連携
こんなとき
お好み設定
必要なとき
困ったとき

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

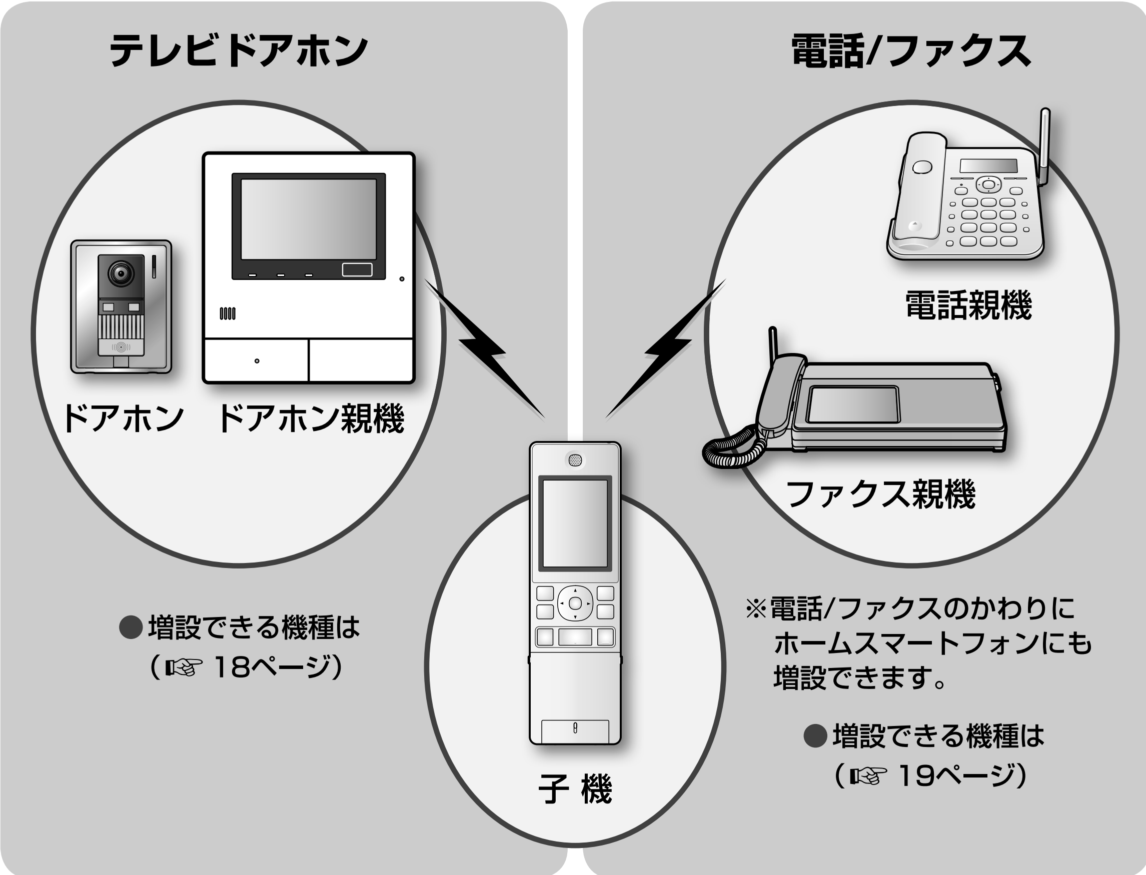
■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■**ご使用前に「安全上のご注意」（6〜8ページ）を必ずお読みください。**
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

はじめに

本機は、パナソニック製の「テレビドアホン」および「電話/ファクス」の増設用子機です。
テレビドアホンの親機と、電話/ファクスの親機の両方に登録(増設)すると、ドアホン/電話両用子機として使えます。

● 本書の中では、それぞれの機器の名称を下記のように表記しています。



● ドアホン親機と電話/ファクス親機の両方を総称して「親機」と表記している場合があります。
● その他の表記について
- 本書の説明は、本機をテレビドアホンと電話/ファクスの両方の親機に増設した状態を例に記載しています。(記載例:テレビドアホン「VL-SWD501KL」、ファクス「KX-PD702シリーズ」)
- どちらか一方の親機だけに増設して、ドアホン専用子機や電話専用子機として使うこともできますが、画面に表示される項目やアイコン、および操作の一部が本書の表記と異なる場合があります。
- テレビドアホンと電話/ファクスの両方の親機に増設して使う場合でも、増設する親機によって本機で利用できる機能が異なるため(☞ 18、19ページ)、操作やディスプレイ表示が、本書の記載と異なる場合があります。親機の取扱説明書も、よくお読みください。
- 本書に記載のイラストや画面は、イメージです。実際とは異なる場合があります。

お願い

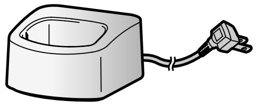
● **子機をドアホン/電話の両方の子機として使うときは、ドアホン親機と電話/ファクス親機の設置場所にご注意ください。親機同士が離れすぎていたり、親機間に障害物などがあると、子機の電話機能が使えません。(☞ 9ページ)**

付属品・添付品の確認

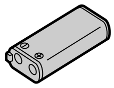
不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

付属品

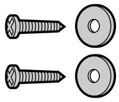
☐ **充電台** 1台



☐ **電池パック**※ 1個



☐ **充電台壁掛け用木ねじ・ワッシャー**
....各2個



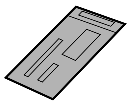
※ お買い上げ時、子機本体には電池パックが入っていません。
充電する前に入れてください。（☞ 17ページ）

添付品

☑ **取扱説明書（本書）**..................... 1冊



☐ **保証書** 1式



お願い

● 電源プラグキャップおよび包装材料は、商品を取り出したあと適切に処理をしてください。

もくじ

付属品・添付品については☞ 3ページ

確認と準備

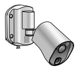
通話／モニター

録画／再生

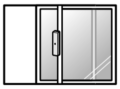
くらしモード

電話/ファクスとの連携

他機器との連携



カメラ
との連携



窓/ドアセンサー
との連携

電気錠やエアコンなどとの連携

警報器やコール機器との連携

こんなとき

お好み設定

音の設定

必要なとき

困ったとき

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

🚫	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

〈電池パックについて〉

液もれ・発熱・破裂を防ぐために

禁止

- ■ 分解・改造しない
- ■ 指定の電池パック以外は使用しない
- ■ 付属の電池パックを、この機器以外に使用しない
- ■ 火の中に捨てたり加熱しない
- ■ ⊕ ⊖ 端子を金属などに接触させない
- ■ ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない

- ■ 専用の充電台を使用して指定の電池パックを充電する

事故を防ぐために

禁止

- ■ 液もれしたとき、“液”に触れたり目に入れない
  （目に入ると、失明の原因になります）
  ➔ 目に入ったら、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

火災・感電などを防ぐために

禁止

- ■ 分解・修理・改造しない
  ➔ 修理は販売店へご相談ください。
- ■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
- ■ 雷が鳴ったら、充電台・電源プラグに触れない

⚠ 警告

火災・感電などを防ぐために

禁止

■ **電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない**

- 傷つける、加工する、熱器具に近づける、コードに過度なストレスを加える（無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど）

（傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります）
➔ 修理は販売店にご相談ください。

■ **コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V 以外での使用はしない**
（たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります）

■ **機器内部に金属物を入れない**
➔ 金属物が入った場合は、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切って販売店へご相談ください。

■ **機器（充電台や電源コードを含む）に水をかけたり、ぬらしたりしない**
➔ ぬれた場合は、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切って販売店へご相談ください。

■ **本機を電子レンジに入れたり、電磁調理機器などに置いたりしない**

■ **電源プラグは根元まで確実に差し込む**
（差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります）
➔ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ **電源プラグのほこりなどは定期的にとる**
（プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります）
➔ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ **煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜く**
（そのまま使用すると、火災や感電の原因になります）
➔ 使用を中止し、販売店へご相談ください。

■ **電源プラグを抜くときはプラグ本体（金属でない部分）を持って抜く**
（コードを持って抜くと、コードの断線による火災･感電･やけどの原因になります）

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

事故などを防ぐために

禁止

■ 医療機器の近くでの設置や使用をしない※

• 手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室の略称）などには持ち込まない

■ 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない※

（※本機からの電波が医療機器や自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります）

■ 心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離す

（本機からの電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります）

⚠注意

火災・感電などを防ぐために

禁止

■ 湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

事故・けが・財産の損害などを防ぐために

禁止

■ 不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない

（落下により、破損やけがの原因になることがあります）

■ スピーカーに耳を近づけて使用しない

（急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こす原因になることがあります）

■ 充電台にコインや指輪などの金属物をのせない

（金属物が熱くなり、やけどの原因になることがあります）

■ 充電台に磁気に弱い物（キャッシュカード、通帳など）を近づけない

（充電台からの磁力線により、磁気に弱いものは使えなくなることがあります）

■ 壁掛けにするときは、落下しないようにしっかりと取り付ける

（落下により、破損やけがの原因になることがあります）

➔ 石こうボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、厚さ 18 mm以下のベニヤ板など、強度の弱い壁は避け、指定の方法で取り付けてください。

使用上のお願い

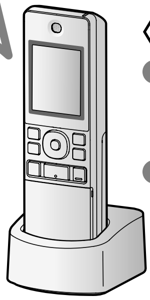
こんなところには設置しない

- 火気・熱器具の近く（変形や故障の原因）
- 直射日光のあたるところ・冷暖房機の近く
  （40 ℃以上、0 ℃以下は誤動作・変形・故障の原因）
- 温度変化が激しいところ（結露による誤動作の原因）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン（インターホン機能付き）、ホームセキュリティ関連装置の近く（ノイズ発生の原因）
- CSデジタル放送受信機器（チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど）の近く
  （CSデジタル放送の画像が乱れる原因）
  - 受信機器から離して設置しても、特定チャンネルの画像が乱れる場合（☞ 82ページ）

充電台は…

- AMラジオの近くに置かない
  （AMラジオで雑音が聞こえる原因）
- テレビ、スピーカーなど、電磁波や磁力を出すものの近くに置かない
  （充電できないことがあります）

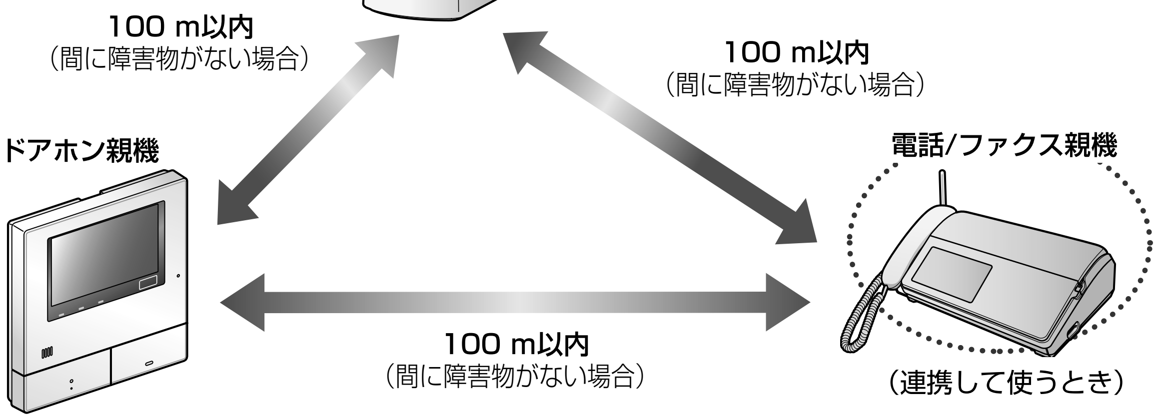
電源プラグは、設置場所の近くにあるコンセントに差し込み、簡単に抜き差しができるようにしてください。



〈子機での通話について〉

- デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。
- 補聴器をお使いの場合、種類によっては雑音が入る場合があります。

気になるときや重要な通話は親機で！



ドアホン親機・子機・電話/ファクス親機間の通信について

- **距離が離れていたり、100 m以内でも間に次のような障害物などがあると、電波が弱くなります。**

• 金属製のドアや雨戸	• 複層ガラスの窓
• アルミはく入りの断熱材が入った壁	• 壁を何枚もへだてたところ
• コンクリートやトタン製の壁	• 各機器を、それぞれ別の階や家屋などで使うとき

このとき子機では、ブツブツ音、通話の途切れ、映像の乱れや更新の遅れが起きたり、電波表示が圏外（☞ 14ページ）となって使えないことがあります。

使用上のお願い(つづき)

登録した電話帳(電話/ファクス親機に増設時☞44ページ)はメモして保管する

お知らせ

- 誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって、記録内容が変化、消失することがあります。
（発生した損害について、当社が責任を負えない場合があります）

電波について

- **本機は、1,895.616～1,902.528 MHz の帯域を使用する無線設備です**
本機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されています。
（一般社団法人　電波産業会　標準規格「ARIB STD-T101」準拠）

1.9ー D

- **J-DECTロゴは、DECT Forumの商標です。**
J-DECTのロゴはARIB STD-T101に準拠した1.9 GHz帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。
同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

J-DECT

- **本機の使用周波数に関わるご注意**
本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。
  1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、ドアホン親機や電話/ファクス親機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター(☞ 86ページ、裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
  2. その他、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター(☞ 86ページ、裏表紙)へお問い合わせください。

個人情報について

本機には、右記のような個人情報が記録されます。これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

- **本機の本体メモリー**
  ➔ お客様自身で登録した電話番号や氏名など、電話帳データ

免責事項

● 記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

〈本機の修理を依頼するとき〉

● 本機の電話帳データは、修理依頼の前に必要に応じて、メモを取るなどして保管ください。
● データの保管後、本機で「設定の初期化」（☞ 76ページ）をしてください。
（初期化すると、本体メモリーに記録された情報が消去されます）
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

初期化をせずに修理依頼された場合でも、修理の際、本体メモリー（記録情報や設定内容）がお買い上げの状態に戻る場合があります。

〈本機を譲渡・廃棄・返却するとき〉

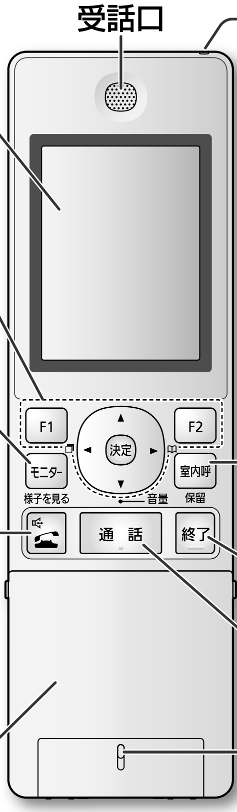
● 本機で「設定の初期化」（☞ 76ページ）をしてください。
（初期化すると、本体メモリーに記録された情報が消去されます）

その他

● 分解・改造することは法律で禁じられています。
（故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください）

各部のなまえとはたらき

● 電話の機能には、(電　話)と表記しています。
（電話/ファクスに増設すると使えます。増設できる機種は☞ 19ページ）



受話口

充電ランプ（天面にあります）
● 充 電 中：点灯
充電完了：消灯

液晶ディスプレイ
（画面の見かた ☞ 14ページ）

マルチファンクションキー、F1、F2（☞ 13ページ）

● ドアホン側、または連携したカメラ側の様子を見る
（☞ 29、52ページ）

(電　話)
● 電話をかける、受ける
（☞ 36ページ）
● スピーカーホンで通話する
（☞ 37ページ）

● ドアホン親機、別の子機を呼び出す（☞ 30、28ページ）

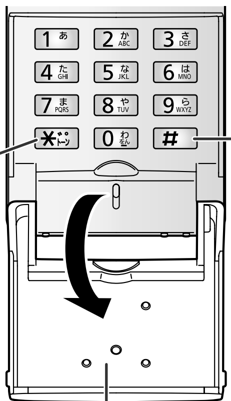
(電　話)
● 通話中に待ってもらう（保留）
（☞ 38ページ）
● 電話/ファクス親機、別の子機を呼び出す（☞ 42、43ページ）

● 通話などの操作を終わる

● 通話する（☞ 24ページ）

マイク（送話口）

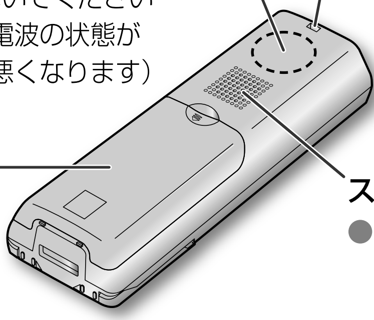
フリップ（閉じた状態）



シャープボタン

フリップ
● 手前に起こして開ける

(電　話)
✱（スター）ボタン
● ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う（トーンボタン）
（☞ 36ページ）



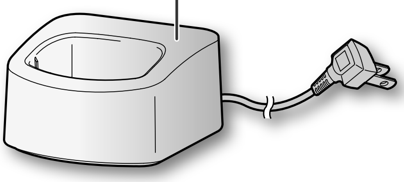
アンテナ部（内蔵）
● 使用中、手でおおわないでください
（電波の状態が悪くなります）

ストラップ取付部
● お手持ちのストラップを取り付けることができます

スピーカー
● 呼出音が鳴ったり、スピーカーホン通話などで相手の声が聞こえる

電池カバー
● 電池パックを入れたり、交換するときに開ける
（☞ 17、77ページ）

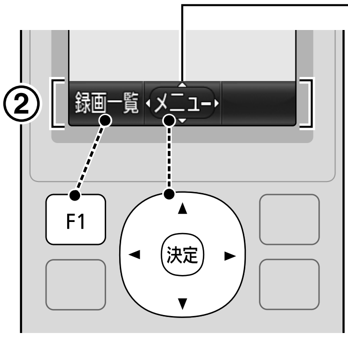
充電台



マルチファンクションキー、F1 F2 の使いかた

画面に表示された機能を操作したり、画面上の項目を選択するときに使います。

（例：待ち受け画面）



① ：決定キーで使えるキーの向きを表示します。

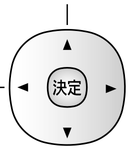
（例） ：上または下が使える

：左または右が使える

待ち受け画面では次のことができます

音量を変更する（☞ 70ページ）

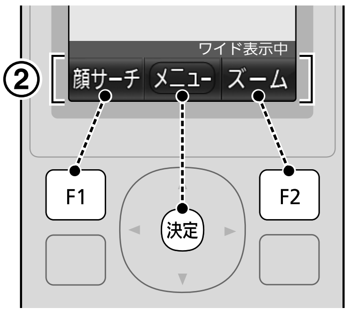
電　話
再ダイヤルする
（☞ 37ページ）



電　話
電話帳を使う
（☞ 37、44ページ）

音量を変更する（☞ 70ページ）

（例：ドアホン着信中）



本書での表記： を押す（**上**または**下**を押す）

を押す（**左**または**右**を押す）

② F1 決定 F2 で操作できる機能を表示します。

本書での表記： F1（録画一覧）を押す（☞ 32ページ）

F1（顔サーチ）を押す（☞ 27ページ）

決定（メニュー）※を押す（☞ 25､74ページ）

F2（ズーム）を押す（☞ 26ページ）

- 録画一覧、顔サーチ、メニュー、ズーム の表示は一例で、操作する画面ごとに変わります。

※ 画面の機能名がボタン名と同じ「決定」の場合は、記載を省略しています。

各部のなまえとはたらき(つづき)

画面の見かた

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

- 待ち受け画面は、子機を充電台から取ったとき、またはディスプレイ消灯時に
  F1 F2 決定 終了 を押すと表示されます。
- 電話の機能についての表示や説明には、(電 話)と表記しています。

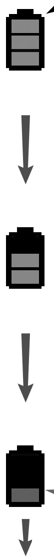
■待ち受け画面



■通話・モニター中の画面



① 電池残量の目安を表示する



充電完了したあとの使用時間の目安
(使用環境温度が 20 ℃のとき)

- **連続使用時間**
  ドアホン通話:約 2 時間

  (電 話)
  外線通話:約 5 時間
  - スピーカーホンで通話したり、電波状態が悪い所で使うと短くなる

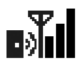
- **待ち受け時間:約 80 時間**
  - 充電台に置かずに一度も使用しないとき
  - 電波状態が「圏外」のときは短くなる

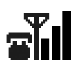
すぐに充電してください

使用中	● 4 秒ごとに「ピッピッ」と警告音が鳴る  (点滅)
待ち受け時	●「充電してください」と表示する(充電しないと使えません)

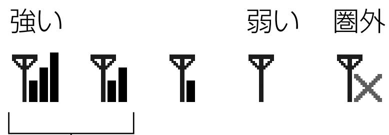
② 電気錠やエアコンなどとの連携時、各機器の状態を表示する
(☞ 62ページ)

③ 電波の状態を表示する


ドアホン親機からの電波の状態

(電 話)

電話/ファクス親機からの電波の状態

電波状態表示



この範囲でご使用ください

- 「圏外」のときは親機からの電波が届いていません(親機に近づけてください)
- 設置場所の電波が弱いときは、電波の強い場所へ設置し直してください

④ ご使用の子機の番号を表示する

1　ドアホン親機に対する子機番号

電　話

2　電話/ファクス親機に対する子機番号

⑤ 電　話
機能設定で登録した「電話子機の名前」（☞ 73ページ）を表示する

⑥ 呼出音量が「切」になっている機器のマークを表示する

切　ドアホン

電　話
切　電話(外線)

切 / 一斉消音　カメラ※

⑦ くらしモードを「外出」や「夜間」にしたとき、またはカメラ(センサー検知)を「休止」にしたときに表示する（☞ 35、54ページ）

外出モードのとき

夜間モードのとき

マークが出ていないときは在宅モードです

カメラ(センサー検知)が休止中のとき※

⑧ 新しく録画された未確認画像があることをお知らせしたり、現在のワイド/ズーム表示の状態、操作の案内などを表示する

⑨ マルチファンクションキー、F1 F2 で操作できる機能などを表示する（☞ 13ページ）

⑩ 着信中・通話中・モニター中の機器のマークを表示する

機器番号

1　ドアホン1

1　カメラ1※

⑪ 着信中や通話中(電話を除く)・モニター中に別の機器から呼び出しがあったとき、呼び出してきた機器のマークを表示する（☞ 64、65ページ）

ドアホン　カメラ※

⑫ 現在の状態をマークで表示する

ボイスチェンジ　ボイスチェンジ中のとき（☞ 25、38ページ）

Pトーク　プレストーク通話中のとき（☞ 24ページ）

録画●　録画中のとき（☞ 31ページ）

ドアホンの照明が「ON」のとき（☞ 25ページ）

カメラ(センサー検知)が休止中のとき※（☞ 54ページ）

電　話

SPホン　スピーカーホン通話中のとき（☞ 37ページ）

ミュート　ミュート中のとき（☞ 37ページ）

録音●　通話録音中のとき（☞ 39ページ）

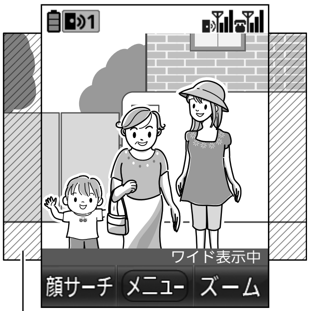
※カメラに関する表示は、カメラ連携時のみ表示されます。

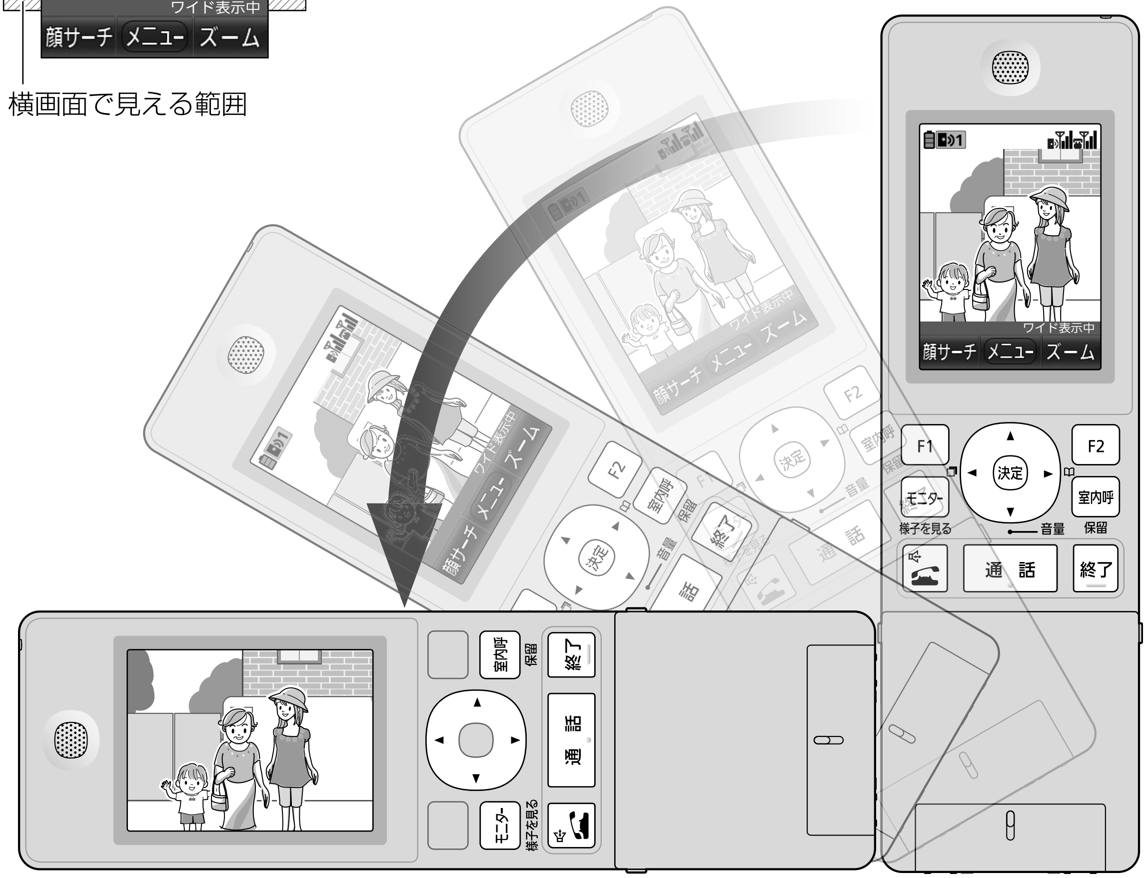
各部のなまえとはたらき(つづき)

横画面表示について

着信中や通話中などの映像表示中に子機を右または左に90度回転すると、横画面表示に変わります。縦画面に表示されていたマークなどが消えるので、映像全体が見やすくなります。

(例:ドアホン着信中)





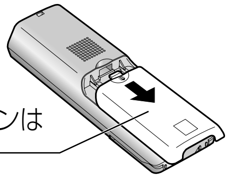
お知らせ

- 子機の持ちかたによっては、正しく動作しないことがあります。
- **横画面表示中は、** F1 F2 決定 (画像再生中は ◆ も)**が使えなくなります。**
- 横画面表示をしないように設定を変更することもできます。(☞ 75ページ)

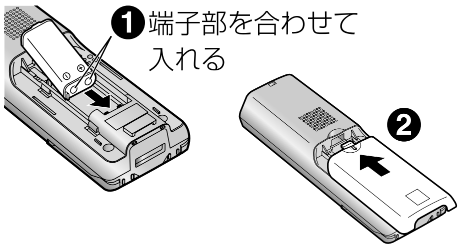
充電する

本機を初めて使うときは、約15分間充電したあと、親機に登録(増設)してください。
(☞ 20、22ページ)
登録完了後、再度、充電台に置いて充電を完了させてください。

1 電池カバーを開ける

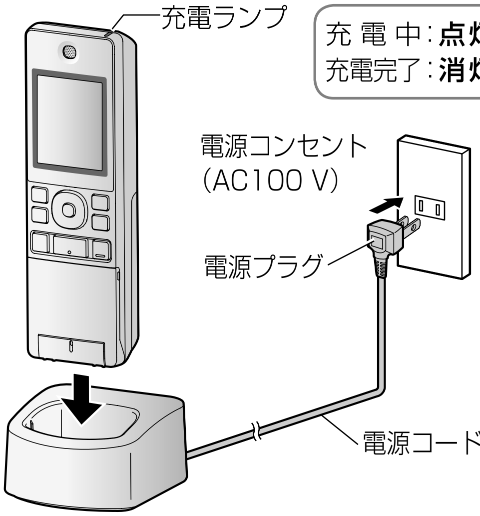


2 電池パックを入れて、電池カバーを閉める



3 子機を置いて充電する

● 完了すると充電ランプが消灯
(親機に登録済みの場合
充電時間の目安：約10時間)



● 次の場合は充電時間が長くなります。
- 使用環境温度が低いときや、電源電圧が低いとき(☞ 79ページ)
- 途中で子機を使用したとき
- 子機の電波表示が「圏外」(☞ 14ページ)のとき

● 子機は充電台に置いたままでも、過充電されません。

お願い

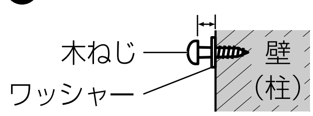
● 1週間以上、子機を充電台から外したり、電源プラグを抜くときは、電池パックを外してください。(電池パックの性能維持と電池消耗を防ぐため) ➔ 次に使うときは充電してください。

充電台を壁(柱)に掛けるとき

壁掛け時の注意(☞ 8ページ)をよくお読みのうえ、取り付けてください。

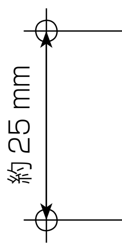
1 付属の木ねじ・ワッシャーを壁(柱)に取り付け、充電台を引っ掛けて固定する



❶


❷ 充電台を右斜めに押し下げ、しっかり固定する


充電台の壁掛寸法の目安



増設できる機種と機能制限について

下記のパナソニック製品に増設できます。（2013年6月現在）

● 増設できる機種は追加になることがあります。

テレビドアホンの場合

品番： VL-SWD200K （ドアホン親機：VL-MWD200K）
VL-SVD300KL/SWD300KL （ドアホン親機：VL-MWD300KL）
VL-SVD301KL/SWD301KL （ドアホン親機：VL-MWD301KL）
VL-SVD501KL/SWD501KL （ドアホン親機：VL-MWD501KL）
VL-SWD700KL （ドアホン親機：VL-MWD700KL）

● 下記のドアホン親機に増設できますが、増設した親機によって利用できない機能があります。ご使用前にご確認ください。

制限される子機の機能 ＼ ドアホン親機の品番		VL-		
		MWD200K MWD300KL	MWD301KL	MWD501KL MWD700KL
ワイド/ズーム、パン・チルト（☞ 26ページ）		×	○	○
顔サーチ（☞ 27ページ）		×	×	○
くらしモード「夜間」への切り替え（☞ 35ページ）		×	×	○
他機器との連携	カメラに関する操作（☞ 52～57ページ）	×	×	○
	電気錠やエアコンなどの操作（☞ 62ページ）	×	×	○

電話/ファクス（ホームスマートフォン含む）の場合

■ **コードレス電話機**

品番：VE-GD21、VE-GD23、VE-GD31、VE-GD51、VE-GD53、
VE-GD71、VE-GDS01 シリーズ

■ **パーソナルファクス**

品番：KX-PD301、KX-PD303、KX-PD502、KX-PD551、KX-PD601、
KX-PD701、KX-PD702 シリーズ

■ **ホームスマートフォン**

品番：VS-HSP200S

● 下記の電話/ファクス親機、またはホームスマートフォンの親機に増設できますが、増設した親機によって利用できない機能があります。ご使用前にご確認ください。

増設した親機の品番 / 制限される子機の機能	**コードレス電話機**				**パーソナルファクス**		**ホームスマートフォン**
	VE-				KX-		VS-
	GD21	GD23	GD31 GD51 GD53 GD71	GDS01	PD301 PD303 PD502 PD551	PD601 PD701 PD702	HSP200
親機と子機間の内線通話 （☞ 42ページ）	○	○	○	×	○	○	×
内線電話の音声呼出 （☞ 42ページ）	×	×	○	×	○	○	○
子機から親機への電話帳転送 （☞ 46ページ）	×	×	○	×	○	○	×
ファクス受信 （☞ 47ページ）	×	×	×	×	○	○	○

お願い

● **子機をドアホン/電話の両方の子機として使うときは、ドアホン親機と電話/ファクス親機の設置場所にご注意ください。親機同士が離れすぎていたり、親機間に障害物などがあると、子機の電話機能が使えません。（☞ 9ページ）**

ドアホン親機に登録する 増設・減設

ドアホン親機に登録すると、子機のドアホン機能が使えるようになります。

● 増設や減設は、ドアホン親機の取扱説明書も参照のうえ行ってください。

登録するとき(増設)

ドアホン親機に続けて、約2分以内に子機を操作してください。

ドアホン親機の操作（例：VL-SWD501KL）

1 トップメニューで

[設定/情報] をタッチする



2 **[設定を変更] をタッチする**



3 **[登録/減設] をタッチする**



4 **[登録] をタッチする**



5 **[子機] をタッチする**



6 **増設する子機の名前をタッチする**



● 子機の名前は、あとで変更できる
（☞ ドアホン親機の取扱説明書）

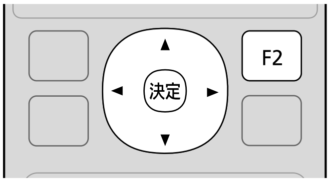
7 **増設する子機番号をタッチする**



続けて、約2分以内に子機を操作する



増設する子機の操作



8 子機の画面に「増設してください」が表示されているとき

F2（増設）を押す

子機増設
ドアホン
電話/ファクス

既に電話/ファクス親機に登録済みのとき

①決定（メニュー）を押し、◀▶で［設定］メニューを開く

電 話　設 定
1/2
電話子機の名前
呼出音
キー確認音

②▲▼で［子機増設］を選び、決定を押す

9 ▲▼で［ドアホン］を選び、決定を押す

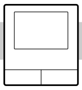
10 決定（登録）を押す

登録完了

11 終わったら、
ドアホン親機の 終 了 を押す

登録を削除するとき（減設）

操作はドアホン親機で行います。



ドアホン親機の操作

1 20ページの手順１～３を行う

2 ［減設］をタッチする



3 ［子機減設］をタッチする



4 表示された一覧から、
減設する子機をタッチする

（例）



5 メッセージを確認して［はい］をタッチする

6 終わったら、 終 了 を押す

ドアホン親機からの減設後、電話/ファクス専用子機として使うときは、「動作モード」を「電話」に変更してください。（☞ 76ページ）

➔ 変更しないと、正しく動作しなかったり、電波表示が圏外となって、使えないことがあります。

お願い

● 誤動作防止のため、減設した子機の電池パックは外してください。

電話/ファクス親機に登録する 増設・減設

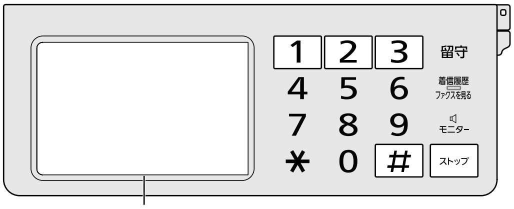
電話/ファクス親機に登録すると、子機の電話機能が使えるようになります。

● 増設や減設は、電話/ファクス親機の取扱説明書も参照のうえ行ってください。

登録するとき(増設)

電話/ファクス親機に続けて、約2分以内に子機を操作してください。

電話/ファクス親機の操作 (例：KX-PD702)



タッチパネル(タッチして操作します)

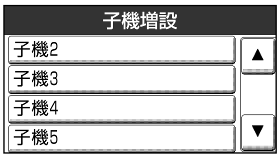
1 電話機コードを抜く

● 「電話機コードを接続してください」が表示されているときは、 ストップ で表示を消してください

2 機 能 をタッチしたあと、

1 2 3 を

タッチする



● 空いている番号のみ表示

3 増設する子機番号をタッチする

続けて、約2分以内に子機を操作する

お知らせ

● 電話/ファクス親機に「ﾌﾟﾛﾄｺﾙｴﾗｰ」が表示されたときや、子機に「登録失敗」が表示されたとき

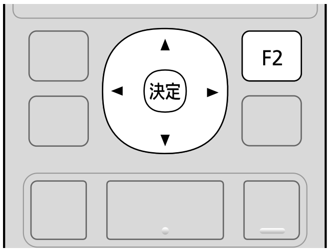
➔ 電話/ファクス親機の ストップ を押し、手順2からやり直す

● 増設後の約3分間は、子機をドアホン親機や電話/ファクス親機に近づけても電波表示が圏外になることがあります。

➔ ドアホンと電話の両方の機能が使えるように準備を行っているためで、故障ではありません。

● 2台以上の子機(VL-WD612)をドアホン/電話両用で使う場合、子機はすべて1台の同じ電話/ファクス親機に登録してください。

増設する子機の操作



4

子機の画面に「増設してください」が表示されているとき

F2（増設）を押す

子機増設
ドアホン
電話/ファクス

既にドアホン親機に登録済みのとき

①決定（メニュー）を押し、◀▶で[設定]メニューを開く

ドアホン　設 定
1/2
呼出音
キー確認音

②▲▼で[子機増設]を選び、

決定を押す

5

▲▼で[電話/ファクス]を選び、

決定を押す

6

決定（登録）を押す

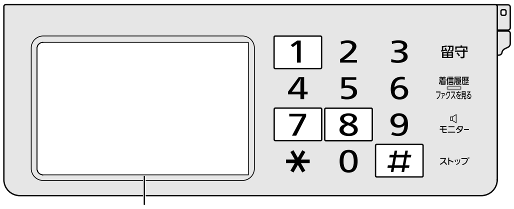
ファクス登録完了

● 終わったら、電話/ファクス親機の電話機コードを接続する

登録を削除するとき（減設）

操作は電話/ファクス親機で行います。

電話/ファクス親機の操作



タッチパネル（タッチして操作します）

1

機 能 をタッチしたあと、

1 7 8 を

タッチする

子機減設
子機1
子機2

● 登録されている番号のみ表示

2

減設する子機番号をタッチする

3

は い をタッチする

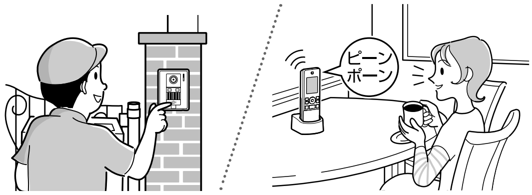
電話/ファクス親機からの減設後、ドアホン専用子機として使うときは、「動作モード」を「ドアホン」に変更してください。（☞ 76ページ）

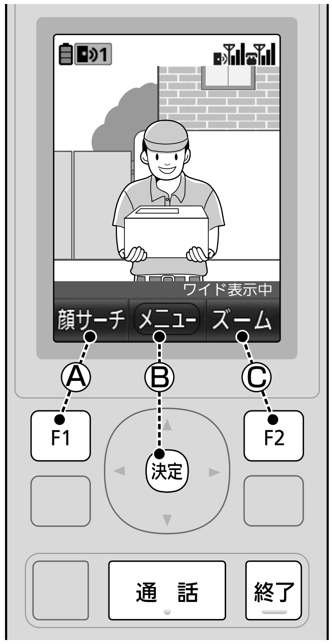
➔ 変更しないと、正しく動作しなかったり、電波表示が圏外となって、使えないことがあります。

お願い

● 誤動作防止のため、減設した子機の電池パックは外してください。

来客の呼び出しに応答する





Ⓐ 顔を探してズームする
（☞ 27ページ）
Ⓑ 音や表示の調整（☞ 25ページ）
Ⓒ ワイド／ズーム（☞ 26ページ）

1 ドアホンの呼び出しボタンが押されると
呼出音が鳴り、相手の映像が映る

2 **［通 話］を押し、相手と話す**



約50 cm以内で
相手と交互に話す
（スピーカーホン通話）
● 同時に話すと声が途切れる
● 通話時間：約2分

3 終わったら、
［終了］を押す

お知らせ

- 呼出音が鳴ってから約30秒以内に応答しないと、映像が消えます。
- **ドアホン親機には、着信時の映像が自動で録画されます。（☞ ドアホン親機の取扱説明書）**
- **ドアホン着信中や通話中に別の呼び出しがあったとき（☞ 64、65ページ）**

● 自分や相手の周囲が騒がしく話しにくいとき（プレストーク通話） ●

プレストーク通話では、送話と受話を手動で切り替えるので、周囲が騒がしいときでも声が伝わりやすくなります。

通話中、「ピッ」と鳴るまで **［通 話］を約2秒間押し、プレストーク通話に切り替える**

● 画面に Pトーク を表示

■ 話すとき（送話）

［通 話］を
押したまま話す



押している間は、
相手の声が
聞こえません

■ 聞くとき（受話）

［通 話］から
指を離す



こちらの声は相手に聞こえません

通話中・モニター中に 音や表示を調整する

音や表示の調整

1 通話中などに (決定)（メニュー）**を押す**

メニュー
ドアホン照明
逆光補正
明るさ
受話音量
ボイスチェンジ



2 **で設定したい項目を選び、** (決定) **を押す**

ドアホンの照明（LEDライト）をON/OFFするとき	上記手順2の操作で **[ドアホン照明]を選んだあと、** **で切り替える** ●「ON」にすると画面に を表示
ドアホン映像を逆光補正するとき	上記手順2の操作で **[逆光補正]を選んだあと、** **で調整する** **「－」**※ ：顔が明るく映るとき（暗くします） **「OFF」**：逆光補正をしない **「＋」**※ ：顔が暗く映るとき（明るくします）
画面の明るさを変えるとき	上記手順2の操作で **[明るさ]を選んだあと、** **で調整する**
室内側の受話音量を変えるとき	上記手順2の操作で **[受話音量]を選んだあと、** **で調整する**
ボイスチェンジするとき	上記の手順2で **[ボイスチェンジ]を選ぶ** ●ボイスチェンジ中は画面に ボイスチェンジ を表示

※ 増設したドアホン親機やご使用のドアホンによっては、逆光補正の「－」は表示されません。
また、「＋」の代わりに「ON」と表示されます。

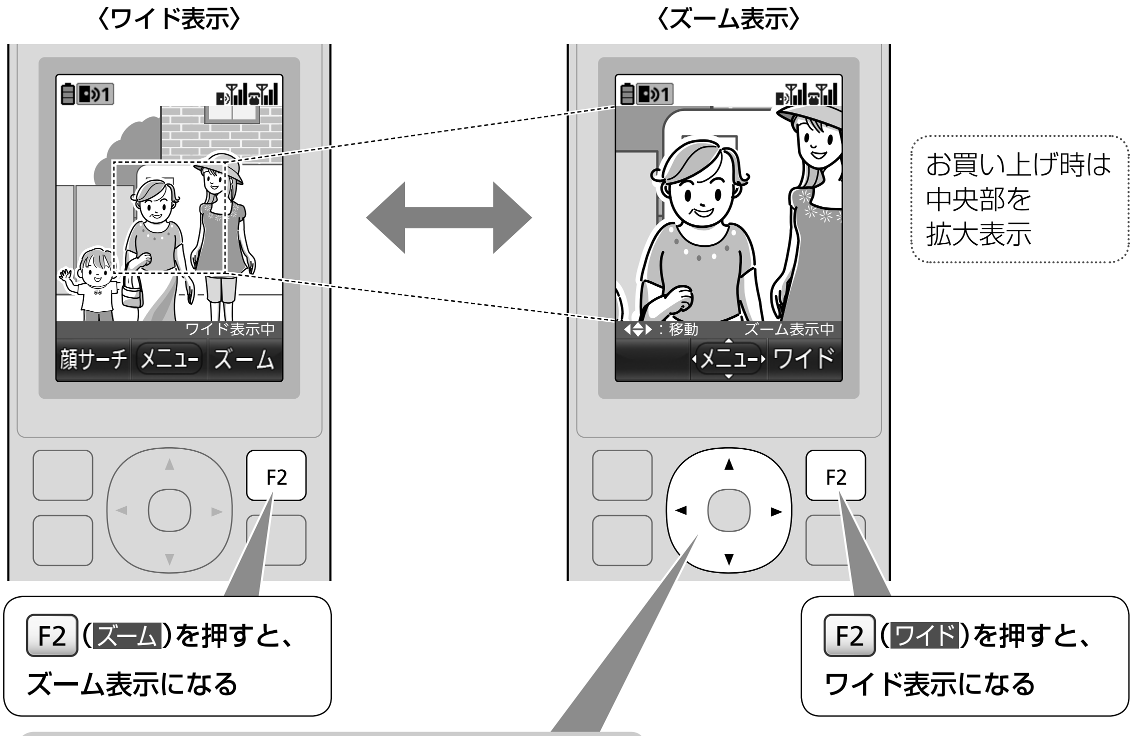
お知らせ

●「ボイスチェンジ」は通話が終わると解除されますが、通話中に解除したいときは
再度上記手順1、2の操作で**[ボイスチェンジ]**を選んでください。

通話中・モニター中に 音や表示を調整する(つづき)

表示映像をワイド/ズーム、パン・チルトする

増設したドアホン親機によっては、ワイド/ズーム対応のドアホンからの表示映像を一時的にワイド/ズームに切り替えたり、ズーム位置の切り替え(パン・チルト)ができます。



ズーム位置を切り替えるとき(パン・チルト)

ズーム表示中に を押して操作します。(下記は操作例)



お知らせ

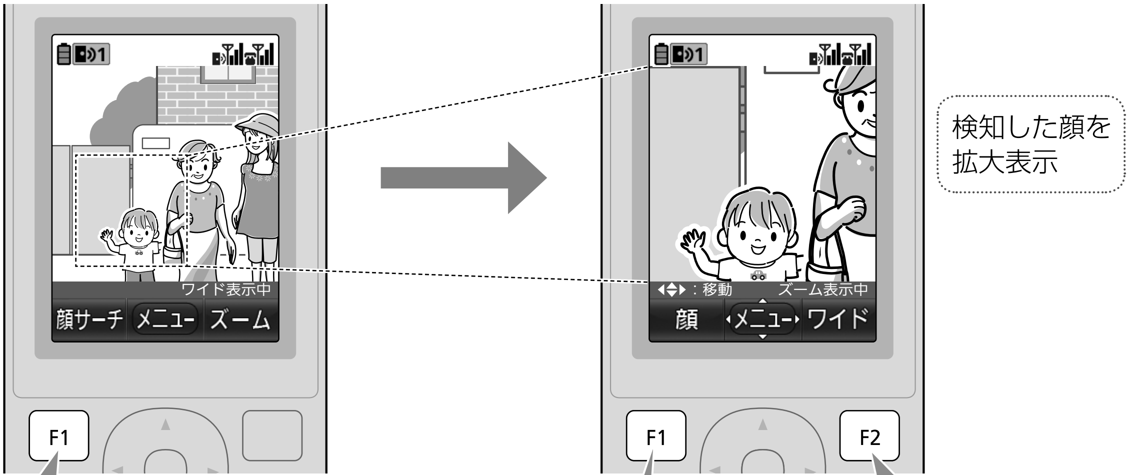
- デジタルズームのため、ズーム表示ではワイド表示に比べて画質が粗くなります。
- 上記の操作で表示を切り替えても、画面を終了すると元の表示に戻ります。表示の設定を変えるには、ドアホン親機で下記の設定を変更してください。(☞ ドアホン親機の取扱説明書)
  - •「着信画面設定」または「ワイド/ズーム設定」(増設したドアホン親機によって機能名が異なります)
  - •「ズーム位置設定」
- ズーム表示中に録画すると、画面に表示された範囲の映像しか録画されません。

顔を探してズームする(顔サーチ)

顔サーチとは映っている人の顔を検知してズームする機能です。顔サーチ対応のドアホン親機に増設した場合、ドアホン映像をワイド表示しているときに利用できます。

●ズーム表示になっているときは、一度ワイド表示に戻してから下記の操作をしてください。

〈ワイド表示〉　〈顔ズーム表示〉



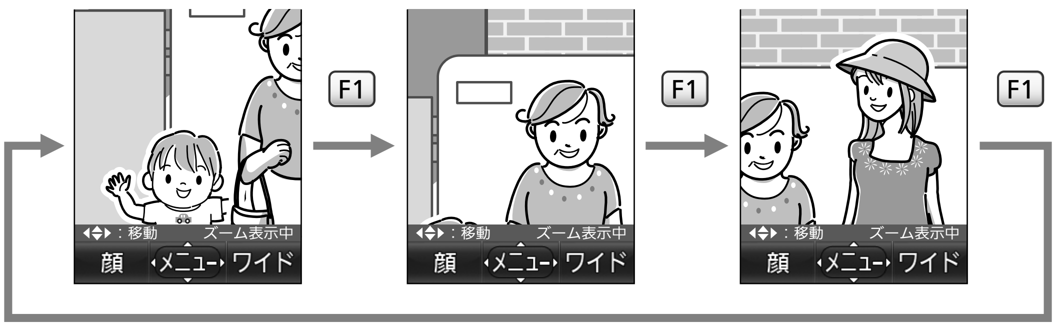
F1 (顔サーチ)を押すと、顔ズーム表示になる

●顔を検知できないときは 顔サーチ を表示しない

ワイド表示に戻るには

F2 (ワイド)を押す

複数の人の顔を検知したときは、F1 (顔)を押すごとに、表示する顔が切り替わります。



お知らせ

●下向き、後ろ向きの顔は検知できません。また、帽子をかぶっているなど、条件によっては検知できない場合もあります。

●顔サーチでは、F1 (顔サーチ)を押したときに検知した顔とその場所を記憶してズームします。このため、次のような場合は、顔ズーム表示画面に顔が映らないことがあります。

- 顔サーチ操作後、映っていた人が場所を移動したとき
- 顔サーチ操作後、撮影範囲内に新たに人が映ったとき

ドアホン通話を転送する



転送する側	受ける側

1 ドアホン通話中に、［室内呼］ **を押す**

● ドアホンの映像が消え、［通 話］ が点滅

転送先が複数あるとき

● **個別に呼び出す**
　（上下キー）で転送先を選び、（決定）を押す



● **一斉に呼び出す**
　［F2］（［一斉呼出］）を押す

（受ける側）

子機から呼び出しがあると、「プー」音や呼びかけが聞こえる

■ **ドアホン親機で受けるとき**

［通 話］ **を押して話す**

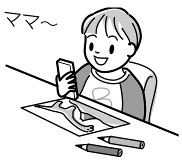


■ **別の子機で受けるとき**（例：VL-WD612）

［通 話］ **を押して話す**



2 **転送先の相手に呼びかける**

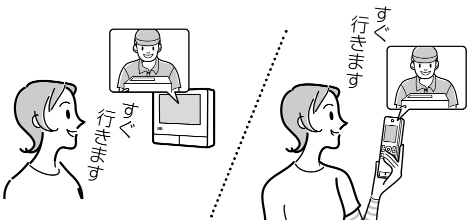


3 相手が出たら、
通話を転送することを伝え、
［終了］ **を押す**

● 転送先との通話が切れ、転送先の相手がドアホンと通話できる

（受ける側）

ドアホンの映像が映ったら、
ドアホン側の相手と話す



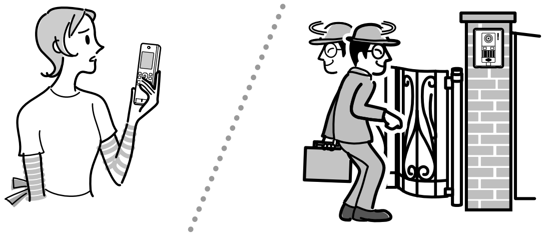
● 終わったら、
〈ドアホン親機の場合〉 ［終 了］ を押す
〈子機の場合〉 ［終了］ を押す

お知らせ

● 転送先の相手と通話中の音声は、ドアホン側の相手には聞こえません。
● 転送先の相手が出ないときなど、ドアホンとの通話に戻るには ➔ ［通 話］ **を押す**

ドアホン側の様子を見る（ドアホンモニター）

ドアホン側の様子を、映像と音で確認できます。
● **こちらの声はドアホン側には聞こえません。**





Ⓐ 顔を探してズームする
（☞ 27ページ）
Ⓑ モニター映像の録画（☞ 31ページ）
音や表示の調整（☞ 25ページ）
Ⓒ ワイド／ズーム（☞ 26ページ）

1 **［モニター］を押す**

モニター先が複数あるとき

［◇］でモニター先を選び、［決定］を押す

機器選択
ドアホン 1
ドアホン 2
カメラ 1

● モニター映像が表示される
● モニター先の相手に話しかけるには
➔ ［通 話］を押す

2 終わったら、**［終了］を押す**

お知らせ

● モニター時間は約3分です。
● **モニター中に別の呼び出しがあったとき（☞ 65ページ）**

室内通話をする（ドアホン室内呼）

呼び出す側 → **受ける側**

1 [室内呼] を押す

下記の表示が出たとき

室内呼/内線
ドアホン室内呼
電話内線

[◇] で**[ドアホン室内呼]**を選び、

[決定] を押す

■呼び出し先が複数あるとき

●個別に呼び出す

[◇] で相手を選び、[決定] を押す

ドアホン室内呼
親機
子機 2
決定　一斉呼出

●一斉に呼び出す

[F2]（[一斉呼出]）を押す

（受ける側）

子機から呼び出しがあると、「プー」音や呼びかけが聞こえる

■ドアホン親機で受けるとき

[通　話] **を押して話す**

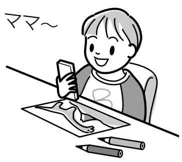


■別の子機で受けるとき（例：VL-WD612）

[通 話] **を押して話す**



2 相手に呼びかける



3 相手が出たら、話す

●受話音量を変えるには [◇] を押す

4 終わったら、[終了] を押す

お知らせ

●呼び出しは約30秒、通話は約60秒で自動的に終了します。

●**室内通話中に別の呼び出しがあったとき**（☞ 65ページ）

ドアホンのモニター映像を手動で録画する

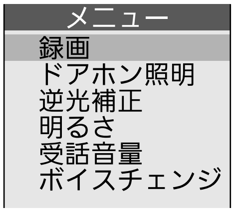
着信時の映像はドアホン親機に自動で録画されますが、子機でも、モニター時のドアホン映像を必要に応じて手動で録画できます。

- 録画した画像はすべて、ドアホン親機側に記録されます。
- 録画機能の詳細は、ドアホン親機の取扱説明書をお読みください。

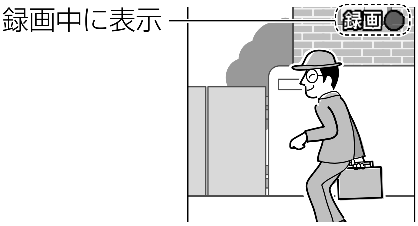


1 モニター映像を表示中に

決定（メニュー）を押す



2 **で［録画］を選び、決定を押す**



お知らせ

- 上記の録画操作を行ってから録画されるまで時間差が生じます。
  このため操作を行ったときの映像と実際に録画された画像が異なることがあります。

録画を再生する

ドアホン親機に記録されている画像を、子機でも再生できます。

● 新しく録画された未確認画像があると、待ち受け画面に右記のお知らせを表示します。
お知らせは、録画一覧を表示すると消えます。

新着の未確認画像あり

新着の未確認画像あり
録画一覧 メニュー

● **子機では、ドアホン親機のSDカードに記録された動画も、静止画として再生します。**

1
待ち受け画面で

F1（録画一覧）を押す

ドアホン録画一覧
10/ 6(日) 3件
10/ 7(月) 1件
10/ 8(火) 2件
未 10/ 9(水) 1件
未 10/10(木) 3件
10/11(金)
10/12(土)
決定 カメラ

未：未確認画像あり

カメラの録画があるときのみ表示

● カメラの録画一覧を見るには
➔ F2（カメラ）を押す

● カメラの録画一覧からドアホン録画一覧に戻すには F2（ドアホン）を押す

2
で再生したい日付を選ぶ

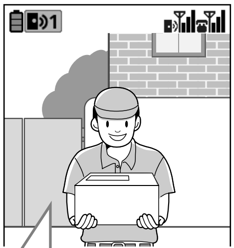
● 画像がない日付はグレーの文字で表示され、選べません

3
決定 を押す

10/10 (木)
3件

4
決定 を押す

● 選んだ日付の中で、最も古い画像が表示される



■ **1件の画像をコマ送り再生するには**

を押す（押すごとに1枚ずつ表示）

■ **画像が2件以上あるとき、次の画像を見るには**

を押す（押すごとに日時の古い画像から新しい画像を表示）

● 再生画面の見かたと再生中の機能
（☞ 33ページ）

5
終わったら、

終了 を押す

お知らせ

● 下記の操作でも、録画一覧を表示できます。

① 待ち受け画面で 決定（メニュー）を押し、 で**[ドアホン]メニュー**を開く

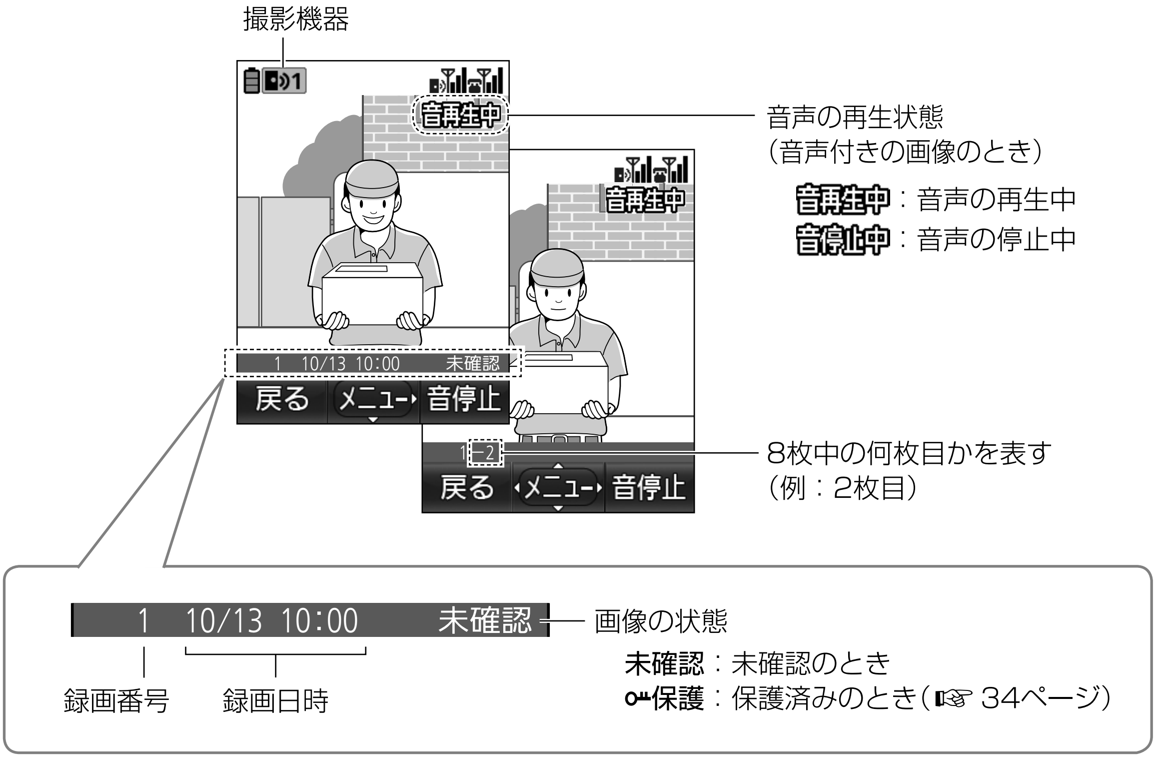
② で**[録画一覧]**を選び、 決定 を押す

ドアホン 電話 設定
録画一覧
くらしモード

再生画面の見かた

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

再生中の画面



再生中のボタンについて

操作ボタン	機能説明
◀／▶	1件の画像を再生中、1コマ（1枚）ずつ戻す／送る
▲／▼	画像が2件以上あるとき、1件単位で画像を戻す／送る
決定（メニュー）	●画像の保護／消去（☞ 34ページ） ●画面の明るさを変える（▲▼で**[明るさ]**を選ぶ ➔ 決定 ➔ ◀▶で調整する） ●再生中の音量を変える※（▲▼で**[音量]**を選ぶ ➔ 決定 ➔ ▲▼で調整する）
F2（音再生）※	音声を再生する／停止中の音声を聞き直す
F2（音停止）※	音声を停止する

※音声付きの画像のみ

画像を保護／消去する

録画がいっぱいになると、古い画像から自動で消去されます。
消したくない画像は保護してください。また不要な画像は、再生中に1件単位で消去できます。



■保護を解除するとき

① 保護画像を再生中に
（決定）（メニュー）を押し、
で［保護解除］を選ぶ

②（決定）を押す

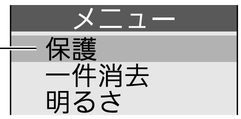
●「保護」の表示が消える

1

画像再生中に

（決定）（メニュー）を押し、で［保護］または［一件消去］を選ぶ

保護済みのときは「保護解除」に変わる



2

［保護］を選んだとき

（決定）を押す

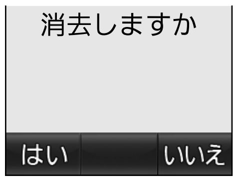
●保護されると、画面に「保護」を表示



［一件消去］を選んだとき

① **（決定）を押す**

② **F1（はい）を押す**



3

終わったら、**終了 を押す**

お知らせ

●保護画像がいっぱいのときは保護できません。別の画像の保護を解除してから保護設定してください。

くらしモードを切り替える

子機の操作で、くらしモードを切り替えることができます。

- 増設したドアホン親機によっては、「夜間」モードへの切り替えができません。
- 各モードの動作など、くらしモードの詳細について、あらかじめドアホン親機の取扱説明書をよくお読みのうえ、ご利用ください。

現在の設定モードを確認できます。

在宅：表示はありません

夜間：（夜間アイコン）を表示

外出：（外出アイコン）を表示

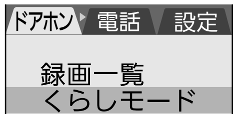


1 待ち受け画面で

決定（メニュー）を押し、（方向キー）で

［ドアホン］メニューを開く

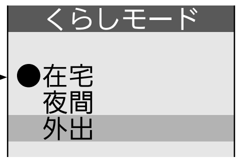
2 **（方向キー）で［くらしモード］を選ぶ**



3 **決定を押し、（方向キー）で切り替えたいモードを選ぶ**

（例：「在宅」から「外出」に切り替え）

現在の設定モード →



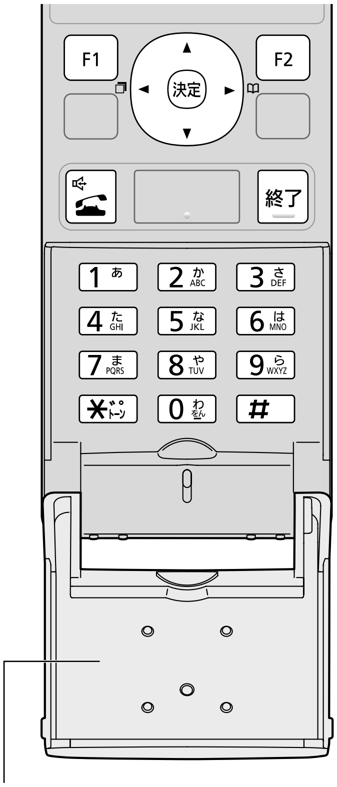
4 **決定を押す**

- 確認メッセージが出たときには
  ➔ 表示に従って操作する
- 「ピー」と鳴り、設定モードが変わる

5 終わったら、**終了を押す**

電話をかける／受ける

36〜51ページまでの機能は、子機を電話/ファクス親機に増設時のみ使えます。



フリップ
- •ダイヤルするとき開ける

■**通話中の機能**（☞ 38、39ページ）

かけるとき

1 充電台から子機を取り、
[通話]を押し、「ツー」音が聞こえてから、フリップを開けてダイヤルする

2 **話す**



3 終わったら、
[終了]を押す（フリップを閉じて充電台に戻す）

受けるとき

1 呼出音が鳴ったら、充電台から子機を取り
[通話]を押し、話す

2 終わったら、
[終了]を押す（充電台に戻す）

お知らせ

● **電話をかけるとき**
- ●電話番号に184 や186 をつけてかけるとき
  [1][8][4]（または [1][8][6]）➔ [F1]（ポーズ）➔ 電話番号 ➔ [通話] を押す
- ●構内交換機に接続しているとき
  外線発信番号 ➔ [F1]（ポーズ）➔ 電話番号 ➔ [通話] を押す
- ●[通話] を押したあとで「ポーズ」を入れることはできません。（[F1] は「キャッチ」機能に変わります）
- ●ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するとき
  相手につながったあと [＊]（トーン）を押す
- ●表示される通話時間は目安です。
  通話料金は相手が電話に出てからかかります。

（例）

通話時間 0:01:30

● **電話を受けるとき**
- ●[F2]（あんしん応答）を押すと、相手の声を確認して電話に出ることができます。（☞ 41ページ）
- ●ファクス親機に増設しているとき
  電話に出ても「ポーポー」音や無音のときは、ファクスが送られてきています。（☞ 47ページ）

● **外線着信中や通話中に別の呼び出しがあったとき**（☞ 66、67ページ）

■いろいろなかけかた

同じ相手にもう一度かける（再ダイヤル） ● 10件まで記憶	❐（左）を押す ➔ （上下）で相手を選ぶ ➔ （通話）を押す **■再ダイヤルの履歴を消去するには** ❐（左） ➔ （上下）で相手を選ぶ ➔ F2（一件消去） ➔ F1（はい） ➔ 終了
電話帳でかける	（右）🕮 を押す ➔ かける相手を検索する ➔ （上下）で相手を選ぶ ➔ （通話）を押す **検索のしかた** **■すべてから探す** （上下）で**[一覧で探す]**を選ぶ ➔ 決定 ●名前の頭文字から探すには 0 ～ 9 を押す **■フリガナで探す** （上下）で**[フリガナで探す]**を選ぶ ➔ 決定 ➔ フリガナを入力する ➔ 決定 ●文字入力のしかた（☞ 68、69ページ） **■グループから探す** （上下）で**[グループで探す]**を選ぶ ➔ 決定 ➔ （上下）でグループを選ぶ ➔ 決定 ●登録は（☞ 44ページ）

スピーカーホン通話に切り替える

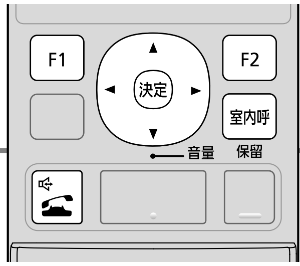
相手の声をスピーカーから聞きたいときは、下記の操作で切り替えてください。
話すときは、送話口に向かって話します。（約50 cm以内）

通話中に （通話） を約2秒間押す（画面に SPホン を表示）

- 受話口での通話に切り替えるには、再度 （通話） を約2秒間押す
- 天気予報など相手の声を聞くだけの場合に、周囲の音で相手の声が途切れるとき
  ➔ F2（ミュート）を押す（画面に ミュート を表示）
  - ミュートを解除するには F2（ミュート）を押す

電話をかける／受ける

通話中の機能



受話音量を 変える	（上下ボタン）で調整する
相手に 待ってもらう （保留）	室内呼（保留）を押す（通話に戻るときは（通話ボタン）を押す） ●保留中は４秒ごとに「ピーッ」と鳴り、相手には電話/ファクス親機の保留音が流れます
キャッチホン を受ける （NTTとの契約が必要）	F1（キャッチ）を押す（元の相手との通話に戻るときは再度押す） ■**キャッチホンでファクスが来たとき** 決定（メニュー）➔（上下ボタン）で **[ファクス受信]** を選ぶ ➔ 決定 ●元の相手との通話は切れます
相手の声の 音質を変える （ボイスセレクト）	決定（メニュー）➔（上下ボタン）で **[ボイスセレクト]** を選ぶ ➔ 決定 ➔ 高音を強調するときは（右ボタン）、低音を強調するときは（左ボタン）を押す ●内線通話中やスピーカーホン通話中は使えません
自分の声を 低く変える （ボイスチェンジ）	決定（メニュー）➔（上下ボタン）で **[ボイスチェンジ]** を選ぶ ➔ 決定 ➔ F1（はい） ●ボイスチェンジ中は画面に ボイスチェンジ を表示

お知らせ

●「ボイスチェンジ」は通話が終わると解除されますが、通話中に解除したいときは再度上記の操作をしてください。
●次の場合は、ボイスチェンジは使えません。
- 電話をかけたとき
- 電話をかけて通話中に、キャッチホンでかかってきたとき
- 並列電話機で受けた電話に、あとで子機で出たとき
  （並列電話機については、電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください）
- 内線通話中のとき（☞ 42ページ）
- ３者通話中のとき（☞ 43ページ）
- 通話録音中のとき（☞ 39ページ）

外線通話を録音する（通話録音）

1 通話中に

決定（メニュー）を押す

メニュー
ファクス受信
通話拒否
通話録音
ボイスセレクト

2 **で[通話録音]を選び、**

決定 を押す

通話録音する前に
警告の音声を
相手に
流しますか

はい　　いいえ

3 **相手にメッセージを流して録音するとき**

F1（はい）を押す

● 相手にメッセージが流れる

相手にメッセージを流さずに録音するとき

F2（いいえ）を押す

4 **通話録音が開始される**

● 録音中は画面に 録音● を表示

■**録音をやめるとき**

① 決定（メニュー）を押す

② で**[録音中止]**を選び、決定 を押す

お知らせ

● ３者通話の録音はできません。

録音した通話をあとから聞くとき（待ち受け中に操作する）

① 待ち受け画面で 決定（メニュー）を押し、で**[電話]メニュー**を開く

② で**[留守操作]**を選び、決定 を押す

③ F1（再生）を押し、で**[新規のみ再生]**を選ぶ

④ 決定 を押す

ドアホン	電話	設定
留守操作		
着信履歴		

● 留守番電話の用件も同時に再生されます（☞ 48ページ）

迷惑な電話をお断りする 通話拒否

呼出音が鳴っているときや通話中に通話拒否の操作をすると、相手に通話を拒否するメッセージを流し、電話が切れます。通話中はチャイムを鳴らして、来客があったようにすることもできます。

● 通話拒否についての詳細は、電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

メッセージを流して通話を拒否する

1

■呼出音が鳴っているとき

① F1（通話拒否）を押す

② F1（はい）を押す

■通話中のとき

① 決定（メニュー）を押す

② ◇で[通話拒否]を選び、決定を押す

③ ◇で[音声]を選び、決定を押す

● 相手にメッセージが2回流れ、電話が切れる

● ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているときは（☞ 下記）

2 終了 を押す

● メッセージの途中で押しても最後まで流れる

チャイムを鳴らして通話を拒否する

1 通話中に 決定（メニュー）を押す

メニュー
ファクス受信
通話拒否

2 ◇で[通話拒否]を選び、決定 を押す

3 ◇で[チャイム]を選び、決定 を押す

● 相手にチャイムが聞こえる（電話は切れない）

● ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているときは（☞ 下記）

4 来客があったことにして電話を切る

■ナンバー・ディスプレイサービス（契約が必要）を利用しているときは、通話拒否したあと、今後、電話を受けないようにすることができます

迷惑設定しますか または 拒否設定しますか を表示中に F1（はい）を押す

● 電話番号を通知してきた相手、非通知の相手、公衆電話の相手、表示圏外の相手によって、通話拒否が設定されます。

お知らせ

● 通話拒否中は、スピーカーから通話拒否メッセージと相手の声を聞くことができます。
音量を変えるには ➔ ◇ を押す

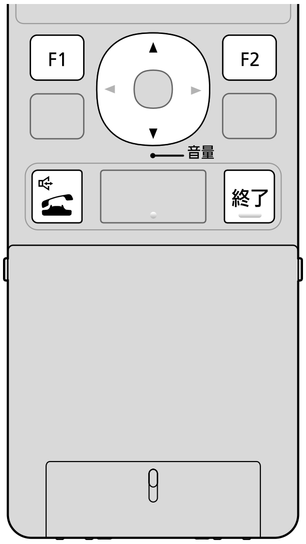
● メッセージを中止し、電話に出るには ➔ メッセージ中に ☎ を押す

● 電話をかけたときは使えません。

● F1（キャッチ）を押してキャッチホンを受けたときや、キャッチホン・ディスプレイをご利用時、通話中にキャッチホンが入ると、上記機能は、はたらきません。

相手の声を確認して電話に出る（あんしん応答）

呼出音が鳴っているときに、相手に名前を尋ねるメッセージを流して相手の声を確認したあと、電話に出たり、電話を切ったりすることができます。
●あんしん応答についての詳細は、電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。



1 呼出音が鳴っているときに
F2（あんしん応答）を押す
●名前を尋ねるメッセージが相手に流れる

2 **スピーカーから相手の声を聞く**

3
電話に出るとき
［スピーカー］を押し、話す

お断りのメッセージを流して電話を切るとき
F1（おことわり）を押す
●相手にメッセージが流れ、電話が切れる

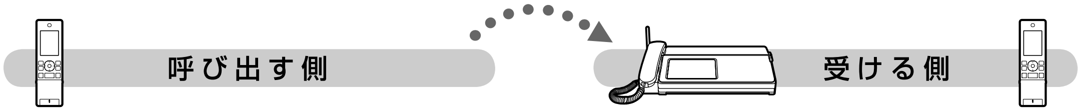
もう一度名前を尋ねるメッセージを流すとき
F2（くりかえし）を押す
●手順2へ

■メッセージ中やスピーカーから相手の声を聞いているときに電話を切るには
➔ 終了 を押す

お知らせ
●メッセージ中は、スピーカーからあんしん応答メッセージと相手の声を聞くことができます。
音量を変えるには➔ ［上下キー］ を押す
● F2（あんしん応答）を押したあと、約40秒間操作をしないと、電話が切れます。
●内線通話中などにかかってきた電話には、あんしん応答は使えません。
●ファクス親機に増設している場合、あんしん応答メッセージ中に「ポーポー」音が聞こえたあと、「ファクスを受信します」と聞こえたときは、自動的にファクスの受信が開始されます。

内線通話をする 電話内線

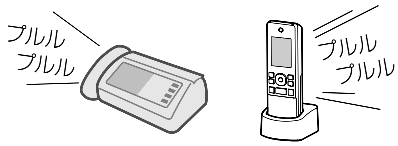
● 内線通話できる相手：電話/ファクス親機や別の子機（電話/ファクス親機に登録されているもの）



1 充電台から子機を取り、

[室内呼] **を押す**

室内呼/内線
ドアホン室内呼
電話内線



2 [▲▼] **で［電話内線］を選び、**

[決定] **を押す**

呼び出し先が複数あるとき

● **個別に呼び出す**

[▲▼]で相手を選び、[決定]を押す

電話内線
親機
子機 1
決定　一斉呼出

● **一斉に呼び出す**

[F2]（一斉呼出）を押す

■ **電話/ファクス親機で受けるとき**

受話器を取って話す

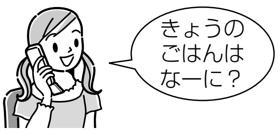
■ **別の子機で受けるとき**（例：VL-WD612）

充電台から子機を取り、

[通話] **を押して話す**

3 相手が出たら、

話す





● 受話音量を変えるには [▲▼] を押す

4 終わったら、[終了] **を押す**

お知らせ

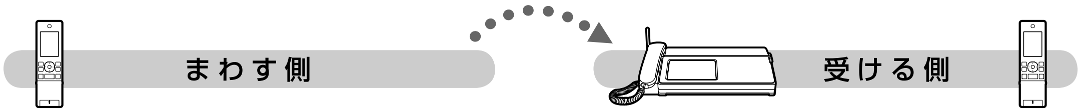
● **内線通話するときや電話をまわすとき**

- スピーカーホンでの通話はできません。
- **ご使用の電話/ファクス親機で、「内線呼出」を「音声」にしているとき**
  〈呼び出すとき〉　呼び出し操作後、呼出音が2回聞こえたあと、相手に呼びかけてください。
  〈呼び出されたとき〉呼出音（1回）のあと、スピーカーから相手の声が聞こえたら応答してください。

● **内線通話中に別の呼び出しがあったとき（☞ 67ページ）**

電話をまわす

●電話をまわせる相手：電話/ファクス親機や別の子機（電話/ファクス親機に登録されているもの）



1 外の相手と通話中に、

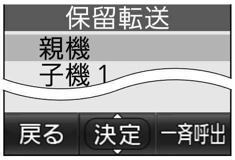
[室内呼] を押し、[F2]（内線呼出）を押す

●外の相手には曲が流れる

呼び出し先が複数あるとき

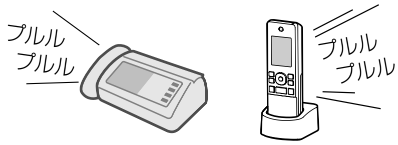
●**個別に呼び出す**

[◇] で相手を選び、[決定] を押す



●**一斉に呼び出す**

[F2]（一斉呼出）を押す



■**電話/ファクス親機で受けるとき**

受話器を取って話す

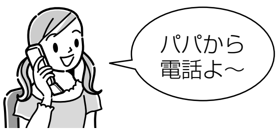
■**別の子機で受けるとき**（例：VL-WD612）

充電台から子機を取り、

[通話] を押して話す

2 相手が出たら、

電話をまわすことを伝える



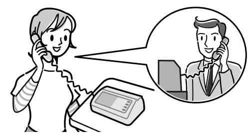


3 **[終了] を押す**

■ **外の相手と電話/ファクス親機（または別の子機）と3人で話すとき**

[室内呼] を押す（3者通話になる）

外の相手と話す



●終わったら、

〈電話/ファクス親機の場合〉受話器を戻す

〈子機の場合〉[終了] を押す

電話をまわすとき

■**まわす相手が出ないとき**

[保留] を押す（外の相手との通話に戻る）

■**まわす相手が近くにいるとき**

① [室内呼] を押す

② まわす相手に声をかける

➔ **〈電話/ファクス親機〉**受話器を取る

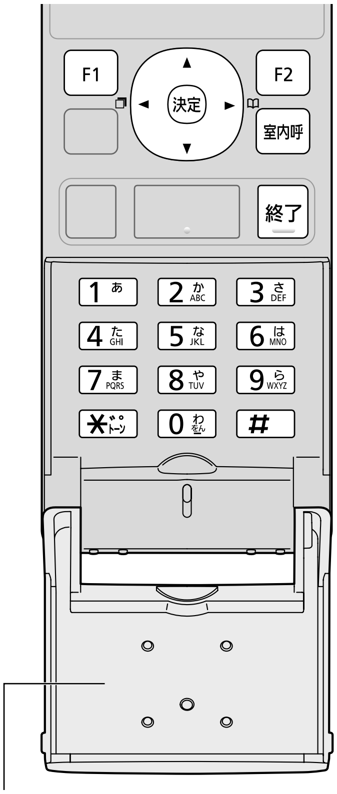
➔ **〈まわす相手の子機〉** [外線] を押す

電話帳に登録する

最大150件まで登録できます。

● 電話帳で電話をかけるには（☞ 37ページ）

● 登録済みの相手先を、電話/ファクス親機や別の子機へ転送するには（☞ 46ページ）



フリップ

■ 184や186をつけて電話番号を入力するとき

[1][8][4]（または[1][8][6]）のあとに [F1]（ポーズ）を入れる

（ポーズを入れないと誤発信することがあります）

■ 途中でやめるとき

[終了] を押す

■ 1～9のグループ番号をつけて登録すると

- グループ別に相手を探して電話をかけられる（☞ 37ページ）
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用すれば、グループごとに呼出音の種類を変えることができる（☞ 51ページ）

1 （▶📖）**を押し、[F1]（登録）を押す**

画面：名前を入力

2 **フリップを開けて [ダイヤルボタン] で名前を入力する**

（全角10文字／半角20文字まで）

● 文字入力・漢字変換のしかた（☞ 68、69ページ）

3 **[決定] を押し、フリガナを確認する**

画面：松下　太郎 / ﾌﾘｶﾞﾅを入力 / ﾏﾂｼﾀ ﾀﾛｳ（半角12文字まで）

● 間違っていれば修正する（修正のしかた ☞ 68ページ）

4 **[決定] を押し、[ダイヤルボタン] で市外局番から電話番号を入力する**

画面：電話番号を入力 / 092123XXXX（24ケタまで）

● 間違えたとき ➔ [F2]（クリアー）を押す

5 **[決定] を押し、[▲▼] でグループ番号を選ぶ**

（グループ1～9）

画面：グループ 1 / グループ 2 / グループ 3

6 **[決定] を押す**

● 続けて登録するとき ➔ 再度手順2へ

● 終わったら、[終了] を押す

■電話帳の登録／修正／消去／確認について

再ダイヤルから登録する	❐◀を押す ➔ ▲▼で相手を選ぶ ➔ 決定（登録） ➔ あとは、44ページの手順2からの操作をする （ただし、電話番号の入力は不要）
修正する	▶🕮 を押す ➔ 修正する相手を検索する（☞ 37ページ「検索のしかた」） ➔ 決定（修正）➔ あとは、44ページの手順2からの操作をする
消去する	▶🕮 を押す ➔ 消去する相手を検索する（☞ 37ページ「検索のしかた」） ➔ F2（一件消去）➔ F1（はい）➔ 終了 を押す ●すべてを消去するには（☞ 75ページ「電話帳全消去」）
登録を確認する	▶🕮 を押す ➔ 確認する相手を検索する（☞ 37ページ「検索のしかた」） ➔ F1（詳細）を押し、確認する ➔ 終了 を押す ●▼ を押すと、次のフリガナ順に表示されます 数字（小さい順）→ アルファベット（A～Z）→ カナ（ア～ン）→ 記号 → 電話番号（名前登録なし） ●よくかける相手を先に表示させたい場合 フリガナの前に数字をつけて登録（例：「001ナカムラ」「002イイヅカ」…） すると、数字の小さい順に表示されます

お知らせ

●時報（117）、天気予報（177）、電報（115）、番号案内（104）が、すでに登録されています。（修正・消去もできます）
●ファクス親機に増設しているときは、登録した電話帳をファクス親機でプリントすることができます。
詳しくは、ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

電話帳を転送する

登録した電話帳を、電話/ファクス親機や別の子機(電話/ファクス親機に登録されているもの)へ個別または一斉に転送できます。

子機を電話/ファクス親機の近くに持ってきてから転送してください。

1 📖を押す

電話帳検索
一覧で探す
◆:項目選択
登録 | 決定 | 転送

2 F2 (転送)を押す

3 で転送先を選ぶ

(例)
電話帳転送
親機
子機 1
子機 3

4 決定を押し、で[個別]または[一斉]を選ぶ

電話帳転送
個別
一斉

5

[個別]を選んだとき

① 決定 **を押す**

② **で転送する相手を選ぶ**

(例)
電話帳検索
鈴木　太郎
田中　花子
松下　太郎

- 名前の頭文字から探すには
  フリップを開けて 0 ～ 9 を押す

③ 決定 **を押す**(転送開始)

- 続けて転送するときは、
  再度手順②へ

[一斉]を選んだとき

① 決定 **を押す**

一斉転送

② 決定 **を押す**(転送開始)

6 終わったら、終了 **を押す**

お知らせ

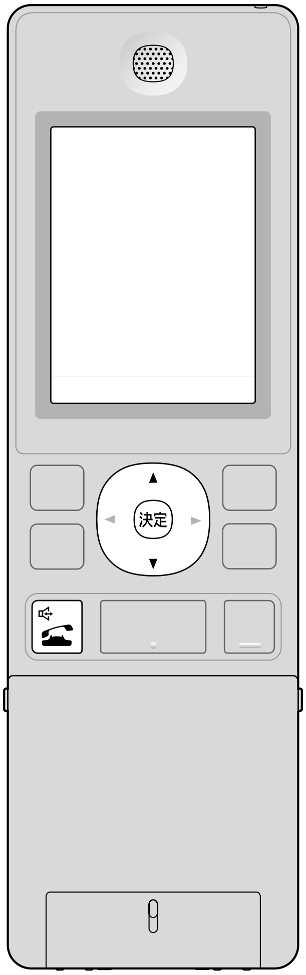
- 機能設定の「電話帳転送」からも操作できます。
  待ち受け画面で 決定(メニュー) ➔ で**[設定]メニュー**を開く
  ➔ で**[電話帳転送]**を選ぶ ➔ 決定 ➔ 上記手順3からの操作をする

  ドアホン | 電話 | 設定
  2/2
  外線鳴り分け
  電話帳転送

- 転送先に同じ内容があるときは追加登録されません。
  (名前が同じでも電話番号やグループが違うときは登録されます)
- **全件を一斉に転送したとき** ➔ を押して表示される順に転送 (多いと時間がかかります)
  ➔ 転送先の空き件数がなくなると終了
- 増設した電話/ファクス親機の電話帳に登録可能な件数以上は転送できません。
- カタカナ表示の電話/ファクス親機に転送すると、子機の電話帳の「フリガナ」部分が電話/ファクス親機の電話帳の「ナマエ」にカタカナで登録されます。

ファクスを受ける

ファクス親機に増設しているときは、子機でファクス受信の操作ができます。



1 呼出音が鳴ったら、
充電台から子機を取り、
[外線] を押す

2 通話後、または「ポーポー」音や無音のとき、
[決定]（メニュー）を押し、[十字キー] で
[ファクス受信] を選ぶ

3 **[決定] を押す**（受信開始）

お知らせ

- ファクス受信についての詳細は、ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

留守番電話を使う

子機の操作で、電話/ファクス親機の留守設定/解除(用件再生)ができます。

●留守番電話についての詳細は、電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

お出かけ前に、留守設定をする

1 待ち受け画面で

決定(メニュー)を押し、◀▶で[電話]メニューを開く

ドアホン 電話 設定
留守操作

2 **▲▼で[留守操作]を選び、決定を押す**

3 **F2(設定)を押す**

●応答メッセージが流れる

留守設定を解除し、新しい用件を聞く

1 左記手順1、2を行ったあと

F2(解除)を押す

●留守設定が解除される

●新しい用件があれば再生される

• 受話口から聞くときは

➔ 通話キーを約2秒間押す

2 再生が終わったら、

F1(はい)を押し、用件を消す

●再生した新しい用件が消える

●残すには ➔ F2(いいえ)を押す

■いろいろな用件再生／消去のしかた

留守設定したまま新しい用件を聞く	左上の手順1、2を行う ➔ F1(再生) ➔ ▲▼で**[新規のみ再生]**を選ぶ ➔ 決定
すべての用件を聞き直す	左上の手順1、2を行う ➔ F1(再生) ➔ ▲▼で**[すべて再生]**を選ぶ ➔ 決定
すべての用件を消す	左上の手順1、2を行う ➔ F1(再生) ➔ F2(全消去) ➔ F1(はい)

お知らせ ●留守応答中でも、通話キーを押して電話に出ることができます。

用件再生中にできること

●音量を調整する……▲▼

●次の用件を聞く……▶

●前の用件を聞く、または再生中の用件の頭から聞き直す……◀

●1件目の用件から聞き直す……F2(最初へ)

●再生を終了する……F1(停止)
(待ち受け状態に戻る)

下記の操作は、フリップを開けて行ってください。

●再生中の用件を1件ずつ消す … ＊ 4 ➔ F1(はい)

●一時停止／再開する……2

●10秒戻る……7

●30秒進む……8

●すべての用件を消す……＊ 5 ➔ F1(はい)

●新しい用件を聞き直す……4
(新しい用件の1件目の頭に戻る)

●すべての用件を聞き直す……5
(すべての用件の1件目の頭に戻る)

決定(ガイド)を押して上記の操作方法を確認できます。

ナンバー・ディスプレイサービスを使う

ナンバー・ディスプレイサービス利用時は、子機でも49～51ページの機能が使えます。

- **ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。**契約や電話/ファクス親機の設定などについては、電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

電話を受けるとき／かけるとき

電話がかかってくると…

相手の電話番号を表示

- 電話帳に登録した相手は、名前も表示



相手の名前や電話番号を確認してから電話に出る

- 日時と電話番号を電話/ファクス親機の着信履歴に記憶（☞ 50ページ）

■**こんな表示が出たとき**

表　示	相手がこんなとき	着信履歴
非通知	電話番号を通知していない	記憶される
公衆電話	公衆電話から	
表示圏外	海外など番号を通知できない電話	
ー（表示なし）	回線状態が悪い	記憶されない

- **キャッチホン・ディスプレイサービス契約時は**
  キャッチホンでかかってきた電話も相手の番号を表示（約30秒間）し、着信履歴に記憶

電話をかけるとき…

自分の電話番号を相手に通知するかしない（非通知）か選べます

	常に決めておく（回線ごと）	**かけるたびに選ぶ**（通話ごと）
通知するとき	NTTに「通常通知」申し込み	[1][8][6] をつけてかける（☞ 36ページ）
通知しないとき	NTTに「通常非通知」申し込み	[1][8][4] をつけてかける（☞ 36ページ）

着信履歴を見る・使う

電話/ファクス親機に記憶された着信履歴を、子機でも見る・使うことができます。

●**ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。**

1

待ち受け画面で

[決定]（メニュー）を押し、[◇]で[電話]メニューを開く

ドアホン　電話　設定
留守操作
着信履歴

2

[◇]で[着信履歴]を選び、[決定]を押す

着信履歴
新規（＊）　3件

電話に出なかった件数

3

[◇]を押す

＊：電話に出なかったとき
拒：「迷惑設定」や「拒否設定」をしているとき

着信履歴
＊ 10/13 14:35
松下　太郎
092123XXXX

電話帳の相手なら名前も表示

●押すごとに新しい順に表示

4

電話をかけるとき

[外線]を押す

電話帳に登録するとき

① **[決定]（メニュー）を押し、[◇]で[電話帳登録]を選ぶ**

② **[決定]を押し、44ページの手順2から操作する**
（ただし、電話番号の入力は不要）

消去するとき

① **F2（一件消去）を押す**

② **F1（はい）を押す**

迷惑電話を拒否するとき

① **[決定]（メニュー）を押し、[◇]で[迷惑設定]または[拒否設定]を選ぶ**

メニュー
電話帳登録
迷惑設定

非通知/公衆電話/表示圏外からの電話の場合は「拒否設定」になる

② **[決定]を押し、F1（はい）を押す**

5

終わったら、**[終了]を押す**

■**着信履歴をすべて消去するとき**

① 上記の手順１、２を行う
② F2（全消去）を押す
③ F1（はい）を押す

相手によって呼出音の種類を変える（外線着信鳴り分け）

電話帳のグループ（事前に登録が必要 ☞ 44ページ）・非通知・公衆電話・表示圏外ごとに変えられます。

●**ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。**

1 待ち受け画面で

決定（メニュー）を押し、◀▶で［設定］メニューを開く

ドアホン	電話	設定
☎		1/2
電話子機の名前		
呼出音		
キー確認音		

2 **▲▼で［外線鳴り分け］を選ぶ**

ドアホン	電話	設定
☎		2/2
外線鳴り分け		
電話帳転送		
電話帳全消去		

3 **決定を押す**

4 **▲▼で鳴り分けするグループを選ぶ**

外線鳴り分け
グループ 1
未登録
グループ 2
未登録

5 **決定を押し、▲▼で音を選ぶ**

現在の設定値 →

呼出音
1/3
●登録しない
ベル 1
ベル 2
ベル 3
ベル 4
ベル 5

●選んだベルやメロディが流れる

●呼出音の種類は（☞ 72ページ）

6 **決定を押す**

●「ピー」と鳴り、設定値が変わる

7 終わったら、

終了を押す

■鳴り分けを解除するには

手順5で**［登録しない］**を選ぶ

お知らせ

●次の場合は外線着信鳴り分けがはたらきません。
- キャッチホン・ディスプレイをご利用時、通話中にキャッチホンが入ったとき
- ドアホン通話（モニター）中、カメラ通話（モニター）中、室内通話中に電話がかかってきたとき（☞ 65ページ）

●電話帳に登録していない電話番号からかかってくると、「呼出音の種類を変える」（☞ 72ページ）で設定した呼出音が鳴ります。
外線着信鳴り分けでは、「呼出音の種類を変える」（☞ 72ページ）で設定した呼出音以外を選ぶことをお勧めします。（同じ呼出音にすると、区別がつかなくなります）

カメラ側の様子を見る （カメラモニター）

ドアホン親機とカメラを連携しているときは、
子機でもカメラ側の様子を、映像で確認できます。

- **こちら側の声はカメラ側には聞こえません。**
- **ご使用のカメラによって、利用できる機能が異なります。
増設したドアホン親機の取扱説明書と合わせて
お読みください。**





Ⓐ ズーム中のパン・チルト
（☞ 26ページ）

（決定）モニター映像の録画
（☞ 57ページ）
明るさの調整（☞ 55ページ）
受話音量の調整
（☞ 55ページ）
カメラから「お知らせ音」を
鳴らす （☞ 56ページ）

Ⓑ ワイド/ズーム（☞ 26ページ）

1 **［モニター］を押し、（上下キー）でモニターしたいカメラを選ぶ**

（例：ドアホン2台、カメラ4台）

機器選択
ドアホン 1
ドアホン 2
カメラ 1
カメラ 2
カメラ 3
カメラ 4

2 **（決定）を押す**

- モニター映像が表示される

■通話ができるカメラの場合
- モニター中は、カメラ側の音声も聞こえる
- モニター先の相手に話しかけるには
➔ ［通 話］を押す

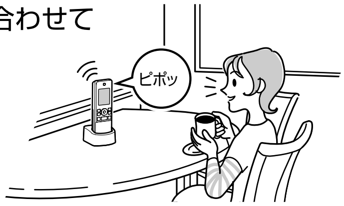
3 終わったら、**［終了］を押す**

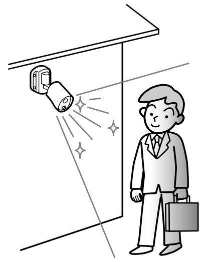
お知らせ

- モニター時間は約3分です。
- 夜間や逆光などでカメラの映像が見えにくいときは、ドアホン親機でカメラの機能設定の「明るさ」設定や「逆光補正」をしてください。（☞ ドアホン親機の取扱説明書）
- **モニター中に別の呼び出しがあったとき（☞ 65ページ）**

カメラのセンサーが反応したとき

● ご使用のカメラによって、利用できる機能が異なります。
増設したドアホン親機の取扱説明書と合わせてお読みください。







1 センサーが反応すると
呼出音が鳴り、カメラの映像が映る

● 映像は約30秒で終了する
● [モニター] を押すと、約3分モニターできる

■ 通話ができるカメラの場合
● カメラ側の相手に話しかけるには
➔ [通 話] を押す

Ⓐ (十字キー) ズーム中のパン・チルト（☞ 26ページ）
(決定) カメラから「お知らせ音」を鳴らす（☞ 56ページ）
明るさの調整（☞ 55ページ）
Ⓑ ワイド/ズーム（☞ 26ページ）

お知らせ

● センサー反応時の映像は、ドアホン親機に挿入したSDカードに自動で録画されます。（☞ ドアホン親機の取扱説明書）
● **センサーが反応しても、子機の呼出音を鳴らさないようにしたいとき**
• カメラの「呼出音量」を「切」にする（☞ 70ページ）
• くらしモードを「夜間」に切り替える（☞ 35ページ）
● 夜間や逆光などでカメラの映像が見えにくいときは、ドアホン親機でカメラの機能設定の「明るさ」設定や「逆光補正」をしてください。（☞ ドアホン親機の取扱説明書）
● **着信中に別の呼び出しがあったとき（☞ 64ページ）**

カメラのセンサーが反応したとき(つづき)

カメラのセンサー検知を休止する

カメラの設置場所で作業をする場合など、子機の操作でも一定時間、センサー検知を休止できます。

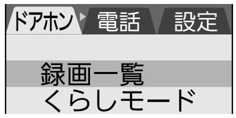
- **休止中は、室内への通知(呼出音や映像表示)や自動録画を行いません。**
- **カメラが複数あるときは、すべてのカメラのセンサー検知が休止になります。**
- **「くらしモード」を「外出」に設定していると、センサー検知の休止はできません。**



1 待ち受け画面で

決定(メニュー)を押し、◀▶で

[ドアホン]メニューを開く



2 **▲▼で[くらしモード]を選び、**

決定を押す



3 **F2(カメラ休止)を押す**

4 **▲▼で休止したい時間を選び、**

決定を押す



- 設定が完了すると「ピー」と鳴り、「カメラ休止中」を表示



5 終わったら、**終了を押す**

■「入」(休止を解除)するとき

休止時間を過ぎると自動で解除されますが、時間内に解除したいときは下記の操作をしてください。

① 休止中に手順１、2を行う

② F2(カメラ入)を押す

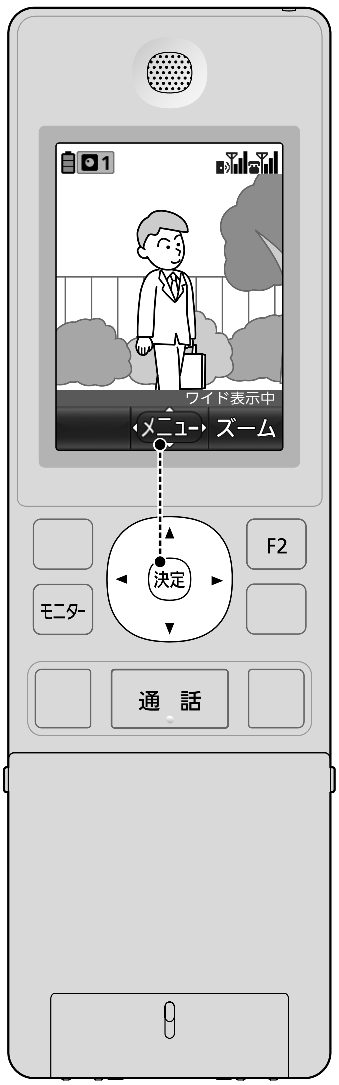
③ 終わったら、終了を押す

お知らせ

- カメラの休止状態などを、ドアホン親機の「カメラ情報」で確認できます。
  (☞ ドアホン親機の取扱説明書)

カメラの通話中・モニター中に 音や表示を調整する

明るさや受話音量を変える



1 通話中・モニター中に

(決定)（メニュー）を押す

〈通話中のとき〉

メニュー
明るさ
受話音量
お知らせ音

カメラがVL-WD812Kの場合のみ表示される

2 **(上下) で設定したい項目を選び、**

(決定) を押す

画面の明るさを変えるとき	上記手順2の操作で **［明るさ］を選んだあと、** **(左右) で調整する**
室内側の受話音量を変えるとき	上記手順2の操作で **［受話音量］を選んだあと、** **(上下) で調整する**

カメラの通話中・モニター中に 音や表示を調整する(つづき)

カメラからお知らせ音を鳴らす

子機の操作でも、必要に応じて、カメラから「お知らせ音」を鳴らすことができます。



通話中やモニター中に

「メニュー」➔

「お知らせ音」を選ぶ

➔ 決定 を押す



お知らせ

- ドアホン親機で設定したカメラの「お知らせ音設定」に従って音が鳴ります。
  音量や音の種類を変えるには、設定を変更してください。(☞ ドアホン親機の取扱説明書)

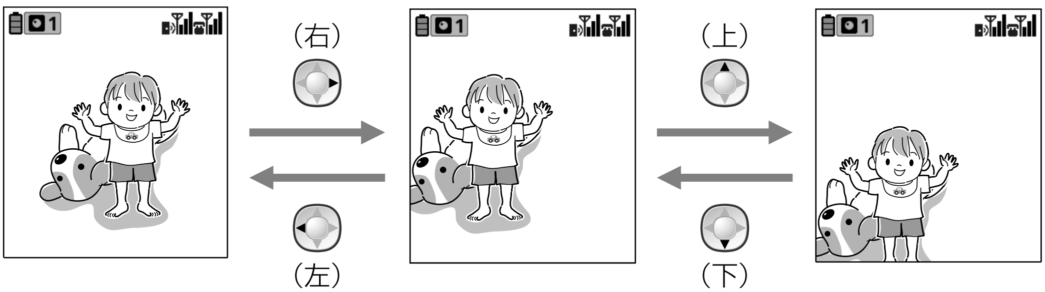
表示映像をワイド/ズーム、パン・チルトする

ご使用の親機がVL-SVD501KL/VL-SWD501KLの場合

カメラの映像表示中は、ドアホンの映像と同じようにワイド/ズームの切り替えやズーム位置の切り替え(パン・チルト)ができます。(操作については☞ 26ページ)

ご使用の親機がVL-SWD700KLの場合

カメラの向きを上下左右に動かすこと(パン・チルト)ができます。
(カメラがVL-CM210のときのみ。VL-CM240、VL-CM260の場合はできません)
カメラを向けたい方向に◇を押して操作します。(下記は操作例)



お知らせ

- この操作でカメラの向きを変えても、画面を終了すると、元の位置に戻ります。
- カメラが戻る位置を変えたいときは、ドアホン親機で「ホームポジション登録」をしてください。(☞ ドアホン親機の取扱説明書)

カメラのモニター映像を手動で録画する

SDカード使用時のみ

子機でも、モニター時のカメラ映像を、必要に応じて手動で録画できます。

- 録画した画像はすべて、SDカードに記録されます。
- カメラの録画機能の詳細は、ドアホン親機の取扱説明書をお読みください。



1 モニター映像を表示中に

決定 (メニュー) を押す



2 で [録画] を選び、決定 を押す



お知らせ

- 上記の録画操作を行ってから録画されるまで時間差が生じます。
  このため操作を行ったときの映像と実際に録画された画像が異なることがあります。

ドアホン親機に窓/ドアセンサーを登録したとき

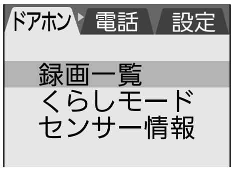
ドアホン親機に登録した窓センサーやドアセンサーの情報（窓/ドアの開閉状態）を子機で確認できます。また、窓やドアが開いてセンサーが反応したときは、その通知を受けることができます。

- ドアセンサーに非対応のドアホン親機に本機を増設したときは、画面の表示が一部異なります。ドアホン親機の取扱説明書もお読みください。

窓/ドアの開閉状態を確認する（センサー情報を見る）

1 待ち受け画面で

決定（メニュー）を押し、◀▶で［ドアホン］メニューを開く



2 **▲▼で［センサー情報］を選び、決定を押す**

- エリア1の窓/ドア状態が表示される

（例）



3 **◀▶▲▼で各エリアの状態を確認する**

◀▶：エリア選択　▲▼：前/次ページへ

（例）



4 終わったら、**終了を押す**

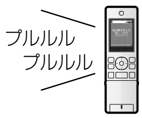
■窓/ドアの状態表示について

ー閉ー	窓/ドアが閉まっている状態
◆開◆	窓/ドアが開いている状態
圏外	電波が届いていない状態 ➔ 窓/ドアセンサーの電波状態（電波レベル）を確認してください （☞ 窓/ドアセンサーの取扱説明書）
電池切	電池の交換が必要な状態 ➔ 電池を交換してください

窓/ドアが開いたとき（報知レベルと動作について）

窓やドアが開いたとき（窓/ドアセンサー反応時）の動作は、「くらしモード」の設定によって変わります。

● 「くらしモード」の切り替えは子機でもできます。（☞ 35ページ）

報知レベル	窓やドアが開いたときの子機の動作
高い くらしモードを **外出モード**に 設定したとき※1	 （例） 窓が開きました 窓１ ：ｷｯﾁﾝ （エリア１） ● 音と表示でお知らせ（約3分）※2 音量：「大」（固定） ● ドアホン通話中や室内通話中は、通話が切れます。 **■ 音や表示をすぐに終了したいとき** **［終了］を押す** ● 窓やドアを閉めても音は止まりません。 ● ［終了］を押すと、ドアホン親機や窓/ドアセンサーの音も止まります。
低い くらしモードを **在宅モード** または **夜間モード**に 設定したとき※1	 （例） 窓が開きました 窓１ ：ｷｯﾁﾝ （エリア１） ● 音（約3秒）や表示（約10秒）でお知らせ 音量：「小」 （「切」にもできます ☞ 70ページ） ● ドアホン通話など、ほかの操作は中断されません。
OFF	動作しません。

※1 在宅/夜間/外出モードでの報知レベルの設定は、ドアホン親機でのみ変更できます。
（☞ ドアホン親機の取扱説明書）
上記はお買い上げ時の設定でモードを切り替えたときのものです。

※2 ドアセンサーの場合は、ドアが開くと予備報知音が鳴ります。
詳細は、ドアホン親機の取扱説明書をお読みください。

お知らせ

● **電話の子機としても利用しているとき**
- 外線や内線通話中に、窓/ドアセンサー（報知レベル「高い」）が反応すると、受話口から音が鳴り、右のような表示になります。
  ➔ 通話を終了したあと、［終了］を押すと、音と表示を終了できます。
- 窓/ドアセンサーが反応中でも、電話をかけたり受けたりすることができます。（その他の操作はできません）

● 窓/ドアセンサー（報知レベル「高い」）が反応中は、ドアホンからの呼び出しを受けられません。

（例）
窓が開きました
窓１ ：ｷｯﾁﾝ
外線通話中
通話時間 0:00:30

電話/ファクス親機に窓/ドアセンサーを登録したとき

子機を増設した電話/ファクス親機に窓センサーやドアセンサーが登録されているときは、窓やドアが開いてセンサーが反応したときに、その通知を受けたり、子機の操作で窓/ドアの開閉状態(センサー情報)の確認や報知レベルの切り替えができます。

● ドアセンサーに非対応の電話/ファクス親機に本機を増設したときは、操作の一部が異なります。電話/ファクス親機の取扱説明書もお読みください。

● 窓/ドアの開閉状態（センサー情報）の確認や報知レベルの切り替え ●

1 待ち受け画面で

決定（メニュー）を押し、◀▶で[電話]メニューを開く

2 **▲▼で[窓/ドアセンサー]を選び、決定を押す**

窓 /ト゛アセンサー
センサー情報
報知レヘ゛ル設定

3 **▲▼で[センサー情報]または[報知レベル設定]を選ぶ**

4 センサー情報を選んだとき

① **決定を押す**

● エリアごとの窓/ドアの開閉状態がまとめて表示される

（例）

センサー情報
エリア 1
⇒全て閉
エリア 2
⇒確認
エリア 3
⇒開あり

② **▲▼で見たいエリアを選び、決定（詳細）を押す**

（例）

エリア 3	
	1/3
1：階段	ー閉ー
2：ハ゜ハ゜	◆開◆

● 前/次ページを見るとき：◀▶

報知レベル設定を選んだとき

① **決定を押す**

② **▲▼で設定したいエリアを選び、決定を押す**

（例）

エリア 1
●高い
低い
留守
OFF

現在の設定値 → ●

③ **▲▼でレベルを選び、決定を押す**

● 「登録しました」を表示し、設定値が変わる

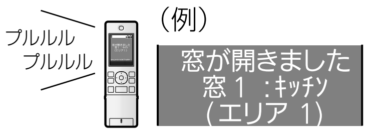
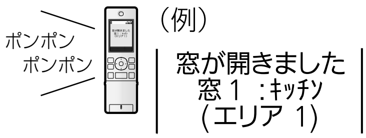
5 終わったら、終了 **を押す**

■ 窓/ドアの状態表示について

全て閉	すべての窓/ドアが閉まっている状態
開あり	開いている窓/ドアがある状態
確認	「圏外」や「電池切れ」の窓/ドアセンサー、開いている窓/ドアがある状態
ー閉ー	窓/ドアが閉まっている状態
◆開◆	窓/ドアが開いている状態
圏外	電波が届いていない状態 ➔ 窓/ドアセンサーの電波状態（電波レベル）を確認してください （☞ 窓/ドアセンサーの取扱説明書）
電池切	電池の交換が必要な状態 ➔ 電池を交換してください

窓/ドアが開いたとき（報知レベルと動作について）

窓/ドアが開いたとき(窓/ドアセンサー反応時)の動作は、電話/ファクス親機の「報知レベル設定」によって変わります。(この「報知レベル設定」は子機で変更することもできます ☞ 60ページ)

報知レベル	窓/ドアが開いたときの子機の動作
高い	 ●音と表示でお知らせ(約3分)※1 音量：「大」（固定） ●通話中のとき（☞ 下記「お知らせ」） ■音や表示をすぐに終了したいとき **F1(停止)または 終了 を押す** ●窓/ドアを閉めても音は止まりません。 ●F1(停止)または 終了 を押すと、電話/ファクス親機や窓/ドアセンサーの音も止まります。
低い	 ●音(約3秒)や表示(約10秒)でお知らせ 音量：外線の呼出音量に連動 （「切」設定中は「小」で鳴ります） ●通話中のとき（☞ 下記「お知らせ」）
留守	留守セットしているとき　：「高い」と同じ動作 留守セットを解除しているとき ：「低い」と同じ動作
OFF	動作しません。

※１ドアセンサーの場合は、ドアが開くと予備報知音が鳴ります。
詳細は、電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

お知らせ

●**通話中などに、窓/ドアセンサーが反応したとき**

- ドアホン通話や室内通話中、またはモニター中の場合
  スピーカーから音が鳴り、右のような表示になります。
  ➔ 通話やモニターを終了したあと、F1(停止)または 終了 を押すと音と表示を終了できます。
- 外線通話や内線通話中の場合
  受話口で音が鳴り、画面全体が通知画面に変わります。
  ➔ F1(停止)または 終了 を押すと窓/ドアセンサーの通知音と画面が消え、元の通話表示に戻ることができます。

(例)



●窓/ドアセンサーが反応中に電話がかかってきたときは、呼出音が鳴りません。

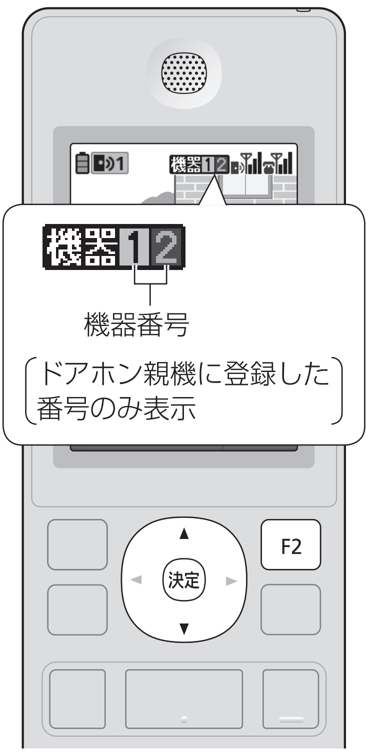
電気錠やエアコンなどを操作する

ドアホン親機と連携した電気錠やエアコンなどを、子機でも操作することができます。

● **操作できる場面**：ドアホン通話（モニター）中、カメラ通話（モニター）中、待ち受け画面表示中

● ドアホン親機の取扱説明書もお読みください。

（例：ドアホン通話中）



1 電気錠やエアコンなどの機器を操作（施錠/解錠またはON/OFF）したいときに

通話中やモニター中の場合

決定（メニュー）を押す

待ち受け画面表示中の場合

手順2へ

2 **F2（錠・機器）を押す**

操作できる機器が2台あるとき

（例：電気錠2台）

▲▼でどちらかを選び、決定を押す

選択してください
電気錠 1 :解錠する
電気錠 2 :施錠する

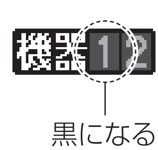
●「ピー」と鳴り、電気錠や機器の状態が変わる

操作すると、電気錠・機器の状態表示が下記のように変化します

- **電気錠・機器1を施錠またはONにしたとき**



- **電気錠・機器1を解錠またはOFFにしたとき**

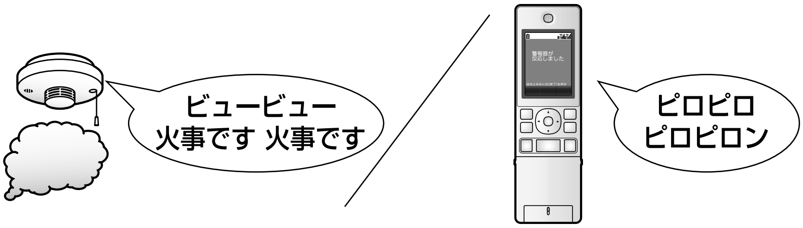


警報器やコール機器が反応したとき

ドアホン親機に警報器(火災警報器など)とコール機器のどちらかを接続している場合、警報器が反応したときやコール機器から呼び出しがあったときに、その通知を受けることができます。

● ドアホン親機の取扱説明書もお読みください。

例)火災警報器が反応したとき



● 通知音と画面表示は、警報器の反応やコール機器からの呼び出しが終わるか、最大3分経過すると自動的に終了します。

■ **通知音と画面表示をすぐに終了したいとき**(鳴り始めから約5秒間は終了できません)

終了 を押す ▶ ドアホン親機とすべての子機の通知音と画面表示が消える

■ **通知音と画面表示について**

接続機器	通　知　音	画面表示
警報器	ピロピロピロピロン 音量:「大」(固定)	警報器が反応しました
コール機器	プップー・プップー 音量:「大」(「小」「切」にもできます ☞ 70ページ)	コールです

お願い

● 接続機器の点検時は、ドアホン親機や子機の動作も確認してください。

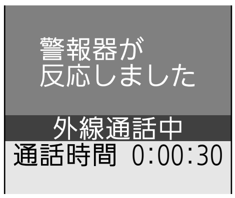
お知らせ

● ドアホン通話中や室内通話中、接続機器が動作すると、通話が切れて通知音が鳴ります。

● **電話の子機としても利用しているとき**

- 外線や内線通話中に、警報器の反応やコール機器からの呼び出しがあると、受話口から音が鳴り、右のような表示になります。
  - ➔ 通話を終了したあと、終了 を押すと、通知音と画面を終了できます。
- 警報器などが反応中でも、電話をかけたり受けたりすることができます。(その他の操作はできません)

(例)



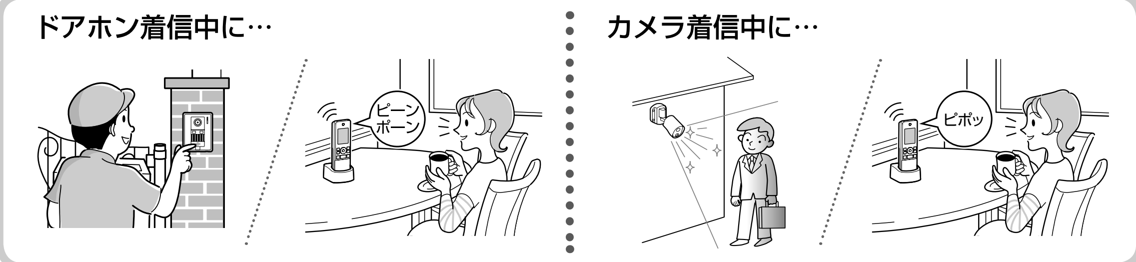
こんなとき 着信中・通話中・モニター中に

別の呼び出しがあったとき

子機では、着信中・通話中・モニター中に別のドアホンやカメラから呼び出しがあったときに下記のようにお知らせします。

● 電話の子機としても利用しているときは、ドアホン通話中に電話を受けたり、電話中にドアホンからの呼び出しを受けたりすることもできます。

ドアホン着信中やカメラ着信中の場合



別のドアホンやカメラから呼び出し(着信)があったとき

● ドアホン同士の着信が重なった場合、**あとの着信が優先**となり画面が切り替わります。（元のドアホン着信は終了する）

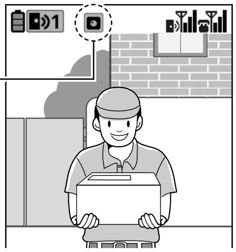
● ドアホンとカメラの着信が重なった場合、**ドアホンを優先**して表示します。

● カメラ同士の着信が重なった場合、**あとの着信が優先**となり画面が切り替わります。（元のカメラ着信は終了する）

1 「ピーンポーン」や「ピポッ」など

ドアホンやカメラの呼出音が鳴り、[通話] や [モニター] が点滅する

例）ドアホンとカメラが着信中



（☞ 15ページ）

2 ドアホン側の相手と通話する

[通話] を押す

カメラ側をモニターする

① **[モニター] を押し、[◇] でカメラを選ぶ**

(例)

着信機器選択
ドアホン１
カメラ１

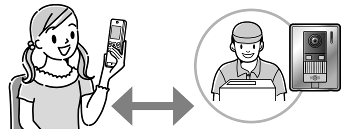
② **[決定] を押す**

● カメラの映像に切り替わる

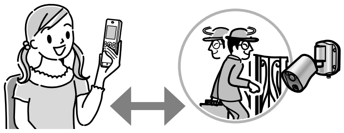
3 終わったら、**[終了] を押す**

● ドアホン通話(モニター)中、カメラ通話(モニター)中、室内通話中の場合 ●

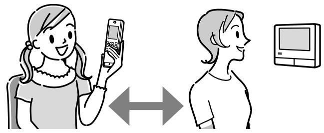
ドアホン通話(モニター)中に…



カメラ通話(モニター)中に…



室内通話中に…

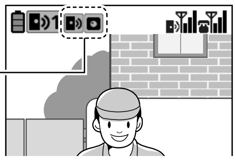


別のドアホンやカメラから呼び出し(着信)があったとき

●**着信中の機器のマーク**を表示します。

1 「ピーンポーン」や「ピポッ」など
ドアホンやカメラの呼出音が鳴る

例)ドアホン通話中



着信中の機器のマーク
(☞ 15ページ)

2 応答するには、[終了] を押す

●元の通話やモニターが終了し、映像が切り替わる

着信中の機器が複数あるとき

[モニター]を押し、

(例)

着信機器選択
ドアホン 2
カメラ 1

[◎]で機器を選び、[決定] を押す

●ドアホンやカメラ側の相手と話すには
➔ [通 話] **を押す**

3 終わったら、[終了] **を押す**

外から電話がかかってきたとき

●**「外線着信中」**を表示します。

1 「プルルルルルルル」と
電話の呼出音(「ベル1」固定)が鳴り、[外線] が点滅する

例)ドアホン通話中



通話中のドアホン映像

2 電話に出るには [外線] を押す

●元の通話やモニターは終了し、外線通話に切り替わる

3 終わったら、[終了] **を押す**

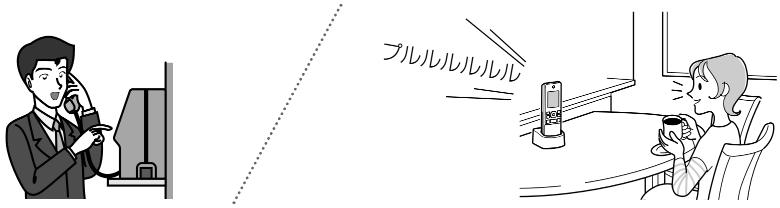
電話/ファクス親機や別の子機から内線呼び出し(電話内線)があったとき

●呼び出しは受けられません。
(呼出音などでのお知らせがありません)

別の呼び出しがあったとき（つづき）

外線着信中の場合

外線着信中に…



ドアホンやカメラから呼び出し（着信）があったとき

▼

●**着信中の機器のマークと映像**を表示します。

1 外線の呼出音の途中で、
「ピーンポーン」や「ピポッ」など
ドアホンやカメラの呼出音が鳴り、
［通話］や［モニター］が点滅する

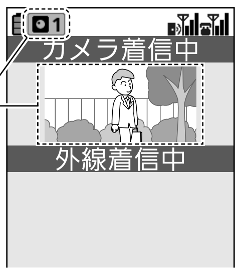
例）外線とドアホンが着信中

ドアホンの
マークと映像



例）外線とカメラが着信中

カメラの
マークと映像



2

電話に出るとき

［外線］を押す

- 外線通話中になる
- ドアホンやカメラの映像は、着信が終了（約30秒）すると消える

ドアホン側の相手と通話する

［通話］を押す

- ドアホン通話中になる
- 外線着信が終了すると、ドアホンの映像が大きくなる

カメラ側をモニターする

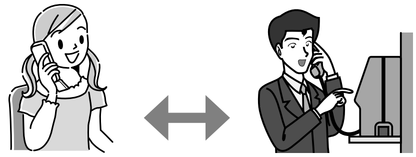
［モニター］を押す

- カメラモニター中になる
- 外線着信が終了すると、カメラの映像が大きくなる

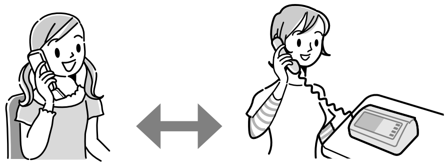
3 終わったら、**［終了］を押す**

外線通話中や内線通話中の場合

外線通話中に…



内線通話中に…



ドアホンやカメラから呼び出し（着信）があったとき

- **着信中の機器のマークと映像**を表示します。
- 外線通話中は、通話を保留して応答できます。

1 「ピーンポーン」や「ピポッ」など
ドアホンやカメラの呼出音が鳴り、[通話] や [モニター] が点滅する

例）外線通話中

着信中の機器のマークと映像



2 ドアホン側の相手と通話する

[通話] を押す

- 内線通話は終了し、外線通話は保留になる（☎ が点滅）
- ドアホンの映像が大きくなり、相手と通話ができる

カメラ側やドアホン側をモニターする

[モニター] を押す

- 内線通話は終了し、外線通話は保留になる（☎ が点滅）
- カメラやドアホンの映像が大きくなる

3 終わったら、**[終了] を押す**

- 外線を保留していたとき、外線通話に戻るには ☎ を押す

（内線通話中の場合のみ）外から電話がかかってきたとき

1 「プルルルルルルル」と
電話の呼出音（「ベル1」固定）が鳴り、☎ が点滅する

2 **電話に出るには ☎ を押す**

- 元の内線通話は終了し、外線通話に切り替わる

3 終わったら、**[終了] を押す**

ドアホン親機や別の子機から室内呼び出し（ドアホン室内呼）があったとき

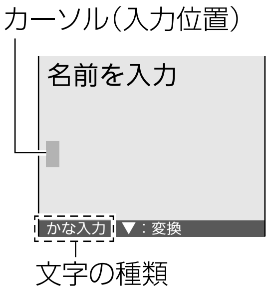
- 呼び出しは受けられません。（呼出音などでのお知らせがありません）

文字を入力するとき（文字入力のしかた）

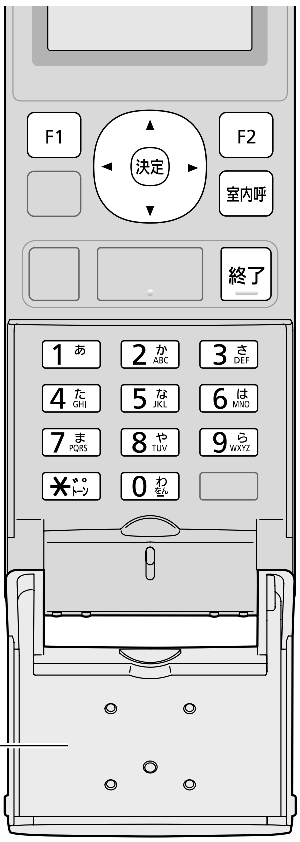
電話子機の名前（☞ 73ページ）や電話帳（☞ 44ページ）を登録するときに使います。

文字入力画面で**文字の種類を選ぶ** ･･････････► フリップを開けて**文字を入力する**

[F1]（文字）を繰り返し押す



文字の種類		例
かな	（ひらがな・漢字 全角カタカナ）	す：[3]（3回）→ ◎（右）→ ず：[3]（3回）[＊]（1回）→ き：[2]（2回）
カナ	（半角カタカナ）	ス：[3]（3回）→ ◎（右）→ ズ：[3]（3回）[＊]（1回）→ キ：[2]（2回）
英字	（英字・記号）	P：[7]（1回） A：[2]（1回） N：[6]（2回） A：[2]（1回）
数字	（数字）	1：[1] 2：[2] 3：[3]



こんなときは

■**同じボタンの文字を続けて入力する**（例：あい）

あ [1] ➔ ◎（カーソルを右へ）➔ い [1]（2回）

■**スペースを入れる**

[室内呼] を押す

■**カーソルを移動する**

◎ を押す

■**途中で入力をやめる**

[終了] を押す

挿入・修正・消去するには

■**挿入するには**

挿入位置の次の文字にカーソルを移動し、文字を入力する

■**修正するには**

修正する文字にカーソルを移動し、[F2]（クリアー）を押して消し、入力し直す

■**消去するには**

消去する文字にカーソルを移動し、[F2]（クリアー）を押す

■**すべて消去するには**

文字の先頭にカーソルを移動し、[F2]（クリアー）を約2秒間押す

■ひらがなのとき

（決定）を押す

名前を入力
すずき

→

名前を入力
すずき

●漢字に変換する前は6文字まで入力できる

●決定された文字は上段へ移動する

■漢字・全角カタカナに変換するとき

（上下左右キー）を繰り返し押して選ぶ → （決定）を押す

名前を入力
鈴木

変換候補を表示

名前を入力
鈴木

●決定された文字は上段へ移動する

■変換中に変換する文字の区切りを変えるには

1. F2（クリアー）で変換中の漢字をひらがなに戻す
2. （上下左右キー）で変換する最後の文字にカーソルを移動し、（上下左右キー）を押す

「ただ」の部分だけが変換される

名前を入力
ただのりこ

●**希望の漢字に変換できないとき**

読みかた（音読み・訓読みなど）を変えて入力し、（上下左右キー）を押す

お知らせ

●複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。

●希望の漢字に変換できないこともあります。

文字列一覧表

ボタン＼表示	かな	カナ	英	数
1	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ	@ . _ －（ハイフン） & $ ￥ % ＋ ＝ ~ ^	1
2	か き く け こ	カ キ ク ケ コ	A B C a b c	2
3	さ し す せ そ	サ シ ス セ ソ	D E F d e f	3
4	た ち つ て と っ	タ チ ツ テ ト ッ	G H I g h i	4
5	な に ぬ ね の	ナ ニ ヌ ネ ノ	J K L j k l	5
6	は ひ ふ へ ほ	ハ ヒ フ ヘ ホ	M N O m n o	6
7	ま み む め も	マ ミ ム メ モ	P Q R S p q r s	7
8	や ゆ よ ゃ ゅ ょ	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ	T U V t u v	8
9	ら り る れ ろ	ラ リ ル レ ロ	W X Y Z w x y z	9
0	わ を ん ー（長音）	ワ ヲ ン ー（長音）	! ? / －（ハイフン） ＊ # , ; : | · ’ ” ( ) [ ] { } 〈 〉 「 」	0
＊	゛（濁点） ゜（半濁点） 、 。	゛（濁点） ゜（半濁点） 、 。	、 。	
室内呼	スペース（1文字空ける）			

●一覧表の文字とディスプレイの文字は、形や位置が異なることがあります。

●文字数には、スペースも含まれます。

お好み設定

呼出音量を変える

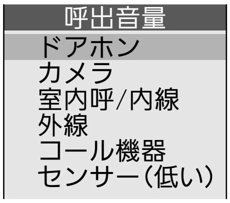
子機で鳴る、下記の呼出音量の設定を変更できます。

①ドアホンからの呼出音量	：大/中/小/切	⑤(報知レベル「低い」設定時の) 窓/ドアセンサーからの呼出音量	：小/切
②カメラからの呼出音量	：大/中/小/切	〈以下はドアホン/電話両用で利用中の子機のみ〉	
③室内呼の呼出音量	：大/中/小		
④コール機器からの呼出音量	：大/小/切	⑥外線(電話)の呼出音量	：大/中/小/切

● ドアホン/電話両用で利用中の子機で変更する場合、
③ には電話内線も含みます。⑤はドアホン親機に登録した窓/ドアセンサーの呼出音量です。

1 待ち受け画面で

で音量を変えたい項目を選ぶ



2 **（決定）を押し、で調整する**

●選んだ音量で呼出音が鳴る

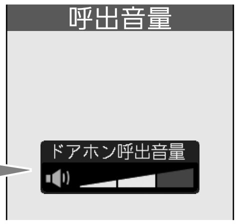
を押して**小さく**　　を押して**大きく**

■**「切」(鳴らない)に設定するには**（室内呼/内線を除く）

切 となるまで を押し続ける

●「切」の解除 ➔ を押す

(例)



3 終わったら、（終了）**を押す**

お知らせ

●外線(電話)の呼び出し音量は、外線着信中に
で変更することもできます。

■**「切」(鳴らない)にするには**
切 となるまで を押し続ける
(解除するには を押す)

呼出音の種類を変える

ドアホンやカメラからの呼出音

ドアホンやカメラからの呼出音の種類を変更できます。ドアホンの場合は鳴りかたの設定もできます。
● 室内呼び出し（ドアホン室内呼）の呼出音は変えられません。

1 待ち受け画面で
決定（メニュー）を押し、◀▶で
[設定]メニューを開く

2 **▲▼で[呼出音]を選ぶ**

ドアホン | 電話 | 設定
1/2
電話子機の名前
呼出音

3 **決定を押し、▲▼で呼出音を**
変えたい機器を選ぶ

呼出音
ドアホン 1
ドアホン 2

4 **決定を押し、▲▼で音を選ぶ**

（例）
ﾄﾞｱﾎﾝ1/呼出音
●音 1 ← 現在の設定値
音 2
音 3
音 4

● 選んだ音が鳴る

5 **決定を押す**

● **ドアホンの場合**
続けて鳴りかたを設定する（手順６へ）
● **カメラの場合**
「ピー」と鳴り、設定値が変わる（手順７へ）

6 **ドアホンの鳴りかたを設定する**

① **▲▼で鳴りかたを選ぶ**

ﾄﾞｱﾎﾝ1/呼出音
●押すたび ← 現在の設定値
繰り返し
連打防止

② **決定を押す**

● 「ピー」と鳴り、設定値が変わる

7 終わったら、**終了を押す**

呼出音の種類

■**音の種類**（お買い上げ時の設定：ドアホン1「音1」、ドアホン2「音2」、カメラ1～4「音A」）

ドアホンからの呼出音			
音1	ピーンポーン	音3	ポーンポーンポーン
音2	ピンポーンピンポーン	音4	プルルルルルル…

カメラからの呼出音			
音A	ピポッ	音C	ポーンポーン
音B	ポポポポポポ…	音D	ピーンポーン

■**ドアホンの鳴りかたの種類**（お買い上げ時の設定：ドアホン1、2「押すたび」）

押すたび	ドアホンの呼出ボタンが押されるたびに鳴る
繰り返し※	ドアホンの呼出ボタンが押されると、約５秒間隔で繰り返し鳴る（着信終了まで）
連打防止	ドアホンの呼出ボタンが連打されても、連続して鳴らない（いたずら防止）

※ドアホン側で鳴る音や、他の機器との通話中やモニター中に鳴る音は、繰り返しません。

呼出音の種類を変える(つづき)

外線の呼出音

電話の子機としても利用している場合は、電話がかかってきたとき(外線)の呼出音を変更できます。

●内線呼び出し(電話内線)の呼出音は変えられません。

1 待ち受け画面で
決定(メニュー)を押し、で
[設定]メニューを開く

2 で[呼出音]を選ぶ

ドアホン　電話　設定
1/2
電話子機の名前
呼出音
キー確認音
コントラスト
横画面表示

3 決定を押し、で
[外線]を選ぶ

呼出音
ドアホン1
カメラ4
外線

4 決定を押す

現在の呼出音を表示

外線呼出音
ベル1

5 決定(変更)を押し、で
音を選ぶ

現在の設定値

外線呼出音
1/2
●ベル1
ベル2
ベル3
ベル4
ベル5
ベル6

●選んだベルやメロディが流れる

6 決定を押す

●「ピー」と鳴り、設定値が変わる

7 終わったら、終了を押す

■ **呼出音の種類**(お買い上げ時の設定:「ベル1」)

種　類	画面表示	内　容
ベル	ベル1～ベル8	8種類のベルがあります
メロディ	JUPITER	JUPITER
	ヴァルキューレ	ヴァルキューレの騎行
	CANTATA	CANTATA(主よ、人の望みの喜びよ)
	クルミ割り人形	くるみ割り人形

お好み設定

子機に名前をつける 電話子機の名前

電話の子機としても利用しているときは、待ち受け画面に表示する名前を登録できます。
全角6文字/半角12文字以内で自由につけられますが、ドアホン親機で設定した名前
（☞ ドアホン親機の取扱説明書の「子機の名前」）と同じにしておくことをお勧めします。

1 待ち受け画面で

(決定)（メニュー）を押し、(◀▶)で

[設定]メニューを開く

2 **(▲▼)で[電話子機の名前]を選ぶ**

ドアホン ／ 電話 ／ 設定
☎ 1/2
電話子機の名前

3 **(決定)を押し、フリップを開けて、**

名前を入力する

（全角6文字／半角12文字まで）

電話子機の名前
名前を入力
子供部屋

● 文字入力・漢字変換のしかた
（☞ 68、69ページ）

4 **(決定)を押し、フリガナを確認する**

電話子機の名前
ﾌﾘｶﾞﾅを入力
ｺﾄﾞﾓﾍﾞﾔ
半角8文字まで

● 間違っていれば修正する
（修正のしかた ☞ 68ページ）

5 **(決定)を押す**

●「ピー」と鳴り、登録が完了する

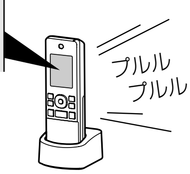
6 終わったら、

終了 を押す

お知らせ

● 登録した名前は、登録した子機自身の待ち受け画面のほか、次のときに電話/ファクス親機や別の子機※の画面に表示されます。
- 電話内線（☞ 42、43ページ）の呼び出し先を選ぶとき／呼び出し中／着信中
- 電話帳転送（☞ 46ページ）の転送先を選ぶとき

例）
子供部屋から
着信中



※電話/ファクス親機や別の子機が漢字を表示できない機種の場合は、登録したフリガナが表示されます。

● 動作モード（☞ 76ページ）の設定が「ドアホン」のときは、待ち受け画面に名前を表示できません。

機能設定一覧

使いかたに合わせて、子機の機能を変更できます。

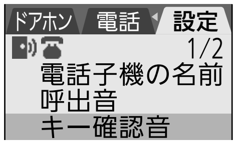
● 機能設定中に着信があったときや、約60秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。

設定の変えかた

待ち受け画面で

決定（メニュー）を押し、◀▶で[設定]メニューを開く ➔ ▲▼で機能名を選ぶ

（例）



➔ 決定を押し、▲▼で設定内容を選ぶ ➔ 決定を押す ➔ 終わったら、終了を押す

● 「コントラスト」のときは
決定を押して ◀▶で調整する

● [　　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要	設定方法（ページ）
★ 電話子機の名前	● 子機に名前をつける	73
呼出音	ドアホン1：（呼出音） 音1、音2、音3、音4 （鳴りかた）押すたび、繰り返し、連打防止 ドアホン2：（呼出音） 音1、音2、音3、音4 （鳴りかた）押すたび、繰り返し、連打防止 カメラ1～4：音A、音B、音C、音D ★ 外　線：ベル1、ベル2、ベル3、ベル4、ベル5、ベル6、ベル7、ベル8、JUPITER、ヴァルキューレ、CANTATA、クルミ割り人形 ● 子機で鳴る呼出音の音と鳴りかたの種類を選ぶ	71 72

★ 電話/ファクス親機に増設時のみ表示されます。

● のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要	設定方法（ページ）
キー確認音	**ON**（出す）、 OFF（出さない） ●ボタンを押すたびに鳴る「ピッ」音を出すか、出さないかを選ぶ	74 上部
コントラスト	●子機の画面の表示が見えにくいとき、コントラスト（表示濃度）を5段階で調整する  お買い上げ時の設定	
横画面表示	**する**、 **しない** ●着信中や通話中などの映像表示中に、子機を右または左に90度回転して、画面全体に映像（画像）を表示するか、表示しないかを選ぶ	
★ オフフック応答	**する** 、 **しない** ●「する」の場合、電話（外線/内線）があったときに、充電台から子機を取るだけで応答できる （ドアホンからの呼び出しやドアホン室内呼には、はたらきません） ●「しない」の場合、外線は 、電話内線は 通話 を押して応答する	
★ 外線鳴り分け	●ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、相手によって呼出音の種類を変える • 電話帳のグループ（1〜9）、非通知、公衆電話、表示圏外ごとに設定できる	51
★ 電話帳転送	**個別** 、 **一斉** ●子機の電話帳の内容を電話/ファクス親機または別の子機に転送する	46
★ 電話帳全消去	●子機の電話帳の内容をすべて消去する	76 上部

★ 電話/ファクス親機に増設時のみ表示されます。

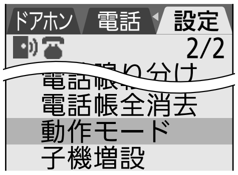
機能設定一覧(つづき)

設定の変えかた

待ち受け画面で

決定(メニュー)を押し、◀▶で**[設定]メニュー**を開く ➔ ▲▼で機能名を選ぶ

(例)



➔ 決定を押し、▲▼で設定内容を選ぶ ➔ 決定を押す ➔ 終わったら、終了を押す

●「電話帳全消去」や「設定の初期化」のときは
決定を押して F1(はい)を押す

● □ のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

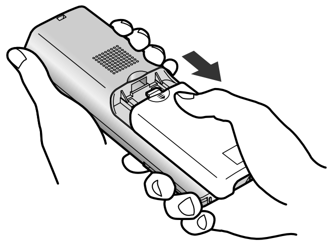
機能名	設定内容と概要	設定方法(ページ)
動作モード	**ドアホン/電話 、 ドアホン、 電話** ●本機を、ドアホン親機と電話/ファクス親機の両方に増設した場合に、必要に応じてモードを選ぶ • 電話とドアホンの両方の機能を使うとき→「ドアホン／電話」 • ドアホン専用子機として使うとき→「ドアホン」 • 電話専用子機として使うとき→「電話」 • **電話/ファクス親機に増設していないときは、「ドアホン」以外選べません(表示されません)** • **電話/ファクス親機に増設すると、設定値が自動的に「ドアホン/電話」に変わります**	76 上部
子機増設	●親機に登録するときに使う • ドアホン親機に登録するとき • 電話/ファクス親機に登録するとき	20 22
設定の初期化	●子機の設定をお買い上げの状態に戻す • 設定の初期化をしても、ドアホン親機や電話/ファクス親機※に登録された子機の登録情報は消えません (※電話/ファクス親機に登録してご使用時)	76 上部

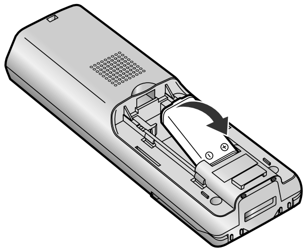
★ 電話/ファクス親機に増設時のみ表示されます。

必要なとき

電池パックを交換する

電池パックは消耗品です。
約10時間充電しても通話数分後に電池残量表示(▮)が点滅したら、新しい電池パックと交換してください。





1 **電池カバーを開ける**

2 **古い電池パックを外す**

3 **新しい電池パックを入れて約10時間充電する**(☞ 17ページ)

お願い

● 別売品「KX-FAN55」をお使いください。(☞ 裏表紙)
➔仕様:ニッケル水素電池、DC 2.4 V、650 mAh

古い電池パックはリサイクルに…

Ni-MH

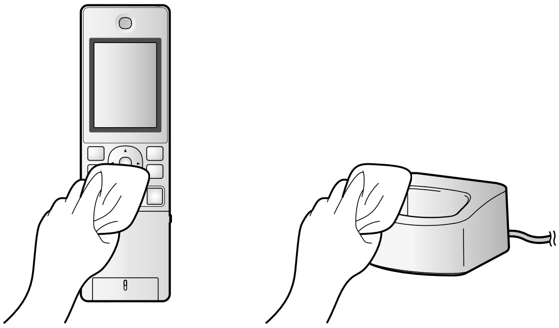
● この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
● ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
● 交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープをはるかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
● リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
  • 製品、ニッケル水素電池パックをご購入いただいた販売店
  • 一般社団法人JBRC および充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

一般社団法人 JBRC のホームページ
http://www.jbrc.com

● **リサイクル時のお願い**
  • 電池パックはショートしないようにしてください。 火災・感電の原因になります。
  • 外装カバー(被覆・チューブなど)をはがさないでください。
  • 電池パックを分解しないでください。

お手入れ

お手入れするときは
柔らかい布で、からぶきする



■本体をふくとき
誤操作防止のため、電池パックを抜いてください。

■充電台や電源プラグをふくとき
安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってふいてください。

お願い

● お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。
（変色、変質の原因になります）

仕 様

■本 体

電　源	専用ニッケル水素電池 (品番：KX-FAN55) (DC 2.4 V)(650 mAh)
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	約173 × 52 × 30 (突起部除く)
質　量	約165 g(電池パック含む)
使用環境条件	周囲温度：0 ℃～+40 ℃ 湿度　　：90 %以下
画面表示	2.4型TFT カラー液晶ディスプレイ
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
通話方式 (ドアホン通話)	音声交互自動切替方式
使用時間※1	連続使用時間： • ドアホン通話 (スピーカーホン)：約2時間 • 外線通話※2 (受話口での通話)：約5時間※3 待ち受け時間：約80時間
充電時間※4	約10時間※5
使用可能距離	約100 m/親機との見通し距離

■充 電 台

電　源	AC100 V(50 Hz/60 Hz)
消費電力	待ち受け時：約0.25 W (子機を充電台から外しているとき) 充電時　　：約0.65 W
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	約43 × 81 × 76 (突起部除く)
質　量	約166 g
使用環境条件	周囲温度：0 ℃～+40 ℃ 湿度　　：90 %以下

※1 充電完了の状態で、使用環境温度が20 ℃のとき
※2 電話/ファクス親機に増設時のみ
※3 スピーカーホンで通話したり、電波状態が悪いところで使う場合は、連続使用時間が短くなります。
※4 使用環境温度が20 ℃、電源電圧がAC 100 Vのときの時間です。使用環境温度が低いときや、電源電圧が低いときは、充電時間が長くなります。
※5 親機に登録(増設)済みのとき

困ったとき

●下記以外の症状については、ドアホン親機の取扱説明書をお読みください。

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
画面表示(ドアホン映像/その他)	人の顔が暗く映る	●ドアホンを逆光になる位置に設置していると、来客の顔が暗く映り、識別しにくくなります。 ➔ 映像表示中に、逆光補正をしてください。	25
	映像全体が白っぽい、または黒っぽい	●明るさの設定は適切ですか？ ➔ 映像表示中に、明るさを調整してください。	25
	映像が乱れる、または映像の更新が遅い(約５秒以上かかる)	●子機背面のアンテナ部(内蔵)を手でおおっていませんか？ ➔ アンテナ部から手を離してください。	12
		●子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。	9
通話(ドアホン・カメラ・室内通話)	通話が途切れるまたは、ほとんど聞こえない	●自分の周り、または通話相手の周りで、車や電車などが通る音、ペットの鳴き声、テレビの音、子供の泣き声など、大きい音がしていませんか？ ➔ 周りの音が大きいと、通話が途切れることがあります。プレストーク通話に切り替えると、話しやすくなります。	24
		●子機背面のアンテナ部(内蔵)を手でおおっていませんか？ ➔ アンテナ部から手を離してください。	12
		●子機が、ドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。	9
	雑音(ハウリング)が聞こえて通話できない	●通話中の相手との距離が近すぎると、雑音(ハウリング)が聞こえます。 ➔ 少し離れた場所で通話してください。	–
	相手に、こちらの声がまったく聞こえない(こちらには相手の音声が聞こえる)	●プレストーク通話になっていませんか？（Pトーク を表示） ➔ プレストーク通話では、［通話］を押している間だけ、相手にこちらの声が聞こえます。	24

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
呼出音	呼出音が鳴らない	●呼出音量が「切」になっていませんか？ ➔ 呼出音量「切」を解除してください。	70
		●子機の電池が切れていませんか？ ➔ 充電してください。	17
		●**上記以外で、ドアホンやカメラからの呼出音が鳴らないとき** ➔ ドアホン親機の取扱説明書をお読みください。	−
電話	電話の呼出音が鳴らず、電話をかけることもできない (子機を電話/ファクス親機に近づけても電波表示が「圏外」になる)	●電話/ファクス親機がドアホン親機から離れすぎていませんか？ ➔ ドアホン親機に近づけて設置し直してください。	9
		●電話/ファクス親機とドアホン親機の間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ 電話/ファクス親機は、ドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物のない場所に設置し直してください。	9
	相手の声が途切れる または、雑音が入る	●子機背面のアンテナ部(内蔵)を手でおおっていませんか？ ➔ アンテナ部から手を離してください。	12
		●子機が電話/ファクス親機から離れすぎている、または電話/ファクス親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ 電話/ファクス親機の近く、または障害物のない場所に移動してください。	9
充電	が点滅し、「ピッピッ」と鳴る	●電池がなくなりかけています。 ➔ すぐに充電してください。	17
	充電台に置いても充電ランプが点灯しない	●電源プラグがコンセントから外れていませんか？ ➔ しっかり取り付けてください。	17
		●充電台に正しく置いていますか？ ➔ 正しく置いてください。 (充電ランプが赤点灯します)	17
		●電池パックが新品、または電池が切れていませんか？ ➔ 数分間、充電台に置いたままにしてください。	17
	充電しても2、3回使うと が点滅する	●電池パックの寿命です。 ➔ 交換してください。	77
	子機、充電台が温かい	●異常ではありません。 (夏は冬に比べて少し熱く感じることがあります) ➔ 非常に熱いときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。	−

困ったとき(つづき)

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
充電	約10時間充電しても、充電ランプが消灯しない	●途中で子機を使用すると、充電時間が長くなります。	−
		●使用環境温度が20 ℃より低いときや、電源電圧がAC100 Vより低いときは、充電時間が長くなります。	−
		●ドアホン親機や電話/ファクス親機の電源が入っていないときや、子機に「」や「」と表示されているときは、充電時間が長くなります。 ➔ ドアホン親機や電話/ファクス親機の電源が入っていることを確認し、子機の電波表示が「」になるまでドアホン親機や電話/ファクス親機に近づけて充電してください。	9 17
その他	正しく操作しても動かない 動作がおかしい	●直らないときは、電池パックを入れ直してください。(リセット) • 登録した設定内容などは消えません。	−
	下記の場合に、子機にだけ通知がこない •窓/ドアセンサーが反応したとき •警報器やコール機器が反応したとき •カメラが反応したとき	●子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。	9
		●子機の電池が切れていませんか？ ➔ 充電してください。	17
		●電話/ファクス親機に登録した窓/ドアセンサーからの通知がこないとき • 子機が電話/ファクス親機から離れすぎている、または電話/ファクス親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ 電話/ファクス親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。	9
	CS デジタル放送(特定チャンネル)の画像が乱れる	●本機※の電波がCS デジタル放送のアンテナ伝送路へ混入すると画像が乱れることがあります。 [※無線通信に1.9 GHz 帯を使用している中継アンテナなどの別売品も含みます] ➔ 下記のように、CS · BS 対応の受信設備をお使いください。 • 混合器、分配器、分波器などの機器は、CS · BS対応のものを使う • 接続ケーブルは、「S-4C-FB」などの「S」で始まるCS·BS対応のものを使う • 接続ケーブルのコネクターは、F型接栓タイプ(CS·BS専用ケーブルに対応)を使う	−

こんな表示が出たら

表示	原因と対応	ページ
ドアホン親機に 接続できません	● 子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。	9
カメラ番号(1～4) カメラ①に 接続できません	**<カメラがVL-WD812Kの場合>** ● カメラがドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所にカメラを移動させてください。 **<カメラがVL-CM210/CM240/CM260の場合>** ● ドアホン親機とカメラ間が正しく接続されていない、またはハブやルーターをご使用の場合に、それらの機器の電源が入っていないなどの可能性があります。 ➔ ドアホン親機の取扱説明書の「カメラ/テレビ/レコーダーと通信できない」の項目を参照のうえ、接続や電源を確認してください。	– –
着信中の機器があります この子機では「鳴らない」設定です 他の機器あてにお客様です この子機では「鳴らない」設定です カメラのセンサーが反応しました この子機では「鳴らない」設定です	● ドアホン親機の「鳴り分け」設定(☞ ドアホン親機の取扱説明書)により、この子機では「鳴らない」設定にしたドアホンやカメラから着信中です。 ➔ この子機で、この着信に応答することはできません。	–
登録失敗	● 親機への登録が完了していません。登録する親機に子機を近づけ、登録操作をやり直してください。 • ドアホン親機に登録するとき(☞ 20ページ) • 電話/ファクス親機に登録するとき(☞ 22ページ)	–
◆閉じていない ｾﾝｻｰがあります ｾﾝｻｰ情報画面で 確認してください	● くらしモードの切り替え(☞ 35ページ)で窓/ドアセンサーの報知レベルが「OFF」以外になったとき、 • 開いている窓/ドアがある • 電池切れ • 圏外 のいずれかの理由で報知できないセンサーがあると表示されます。 ➔ 内容を確認して F2 (了解)を押したあと、[ドアホン]メニューの[センサー情報]で詳細を確認してください。	58

こんな表示が出たら(つづき)

	表示	原因と対応	ページ
電話／ファクス増設時のみ	転送できません	●子機が電話/ファクス親機から離れすぎていませんか？ ➔ 電話/ファクス親機に近づけてください。	–
		●転送先が子機の場合、電池が切れていませんか？ ➔ 充電してからやり直してください。	17
		●転送先の電話帳に空きがありますか？ ➔ 転送先の機器で不要な電話番号を消去してください。（☞ 電話/ファクス親機の取扱説明書）	–
	電話親機に接続できません	●子機が電話/ファクス親機から離れすぎている、または電話/ファクス親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ 電話/ファクス親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。	9
		●電話/ファクス親機の電源が入っていますか？ ➔ 電源が入っていることを確認してからやり直してください。(停電中は使えません)	–
	電話帳がいっぱいです	●電話帳に空きがありません。 ➔ 子機で不要な電話番号を消去してください。	45
	ドアホン親機が電話親機圏外です 電話親機の電源と場所を確認して[再開]を押す	●電話/ファクス親機の電源が入っていますか？ ➔ ACアダプター(または電源コード)をつないで、子機の 決定 (再開)を押してください。	–
		●電話/ファクス親機がドアホン親機から離れすぎていませんか？ ➔ 電話/ファクス親機をドアホン親機に近づけて、子機の 決定 (再開)を押してください。	–

表　示		原因と対応	ページ
電話／ファクス増設時のみ	ドアホン機能のみ使えます 動作モードを変更または電話親機の登録を変更してください	●子機（VL-WD612）を登録している電話/ファクス親機とは別の電話/ファクス親機を、ワイヤレスアダプター機能でドアホン親機と接続していませんか？ ➔ 上記の場合、子機はドアホン/電話両用で使えません。（ドアホン機能のみ使えます） ➔ 両用で使うには、ワイヤレスアダプター機能での接続をやめるか、子機を登録している電話/ファクス親機から子機登録を解除（減設）し、ワイヤレスアダプター機能で接続している別の電話/ファクス親機に子機を登録し直してください。 ●複数のドアホン/電話両用子機（VL-WD612）を、2台以上の電話/ファクス親機に登録していませんか？ ➔ ドアホン/電話両用で使う子機は、すべて1台の同じ電話/ファクス親機に登録しないと、ドアホン/電話両用で使えません。 ●電話/ファクスの買い替えなどで子機を新しい電話/ファクス親機に登録し直すときは、すべての子機の登録が完了するまで、この表示が出ることがあります。 ➔ 電話/ファクス親機を変更するときは、今までご使用の親機からすべての子機を減設し、そのすべてを新しい親機に登録し直してください。	－ － － －
	動作モードを変更してください	●子機の「動作モード」の設定が、「ドアホン」または「電話」になっていませんか？ ➔ ドアホンと電話両方の機能を使うには、子機で、設定を「ドアホン/電話」に変えてください。	76

保証とアフターサービス よくお読みください

ご相談の前に

① 80～85ページの「困ったとき」「こんな表示が出たら」をご確認ください。
② ホームページの「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などもご活用ください。
http://panasonic.jp/com/support/tvdfon

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電　話　（　　　）　－

お買い上げ日　　　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは…

上記①でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	ワイヤレスモニター子機
品　番	VL-WD612
故障の状況	できるだけ具体的に

● **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、付属の電池パックは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料　診断・修理・調整・点検などの費用
部品代　部品および補助材料代
出張料　技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間　7年

当社は、このワイヤレスモニター子機の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK　**0120-878-365**（パナは 365日）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

● 修理に関するご相談は……………………

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK　**0120-878-554**（パナは イイヨ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お願い

● 停電などの外部要因により、録画、通話などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
● 修理を依頼する前に、11 ページの「個人情報について」を必ずお読みください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札　幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭　川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯　広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函　館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青　森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋　田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩　手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮　城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山　形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福　島	☎ (024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区	栃　木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群　馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨　城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼　玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千　葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東　京	☎ (03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山　梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新　潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石　川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富　山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福　井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長　野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静　岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛　知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐　阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三　重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋　賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京　都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大　阪	☎ (06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈　良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
	兵　庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥　取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米　子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松　江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出　雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜　田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡　山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広　島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山　口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香　川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳　島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高　知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛　媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福　岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐　賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長　崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大　分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮　崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊　本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区	沖　縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

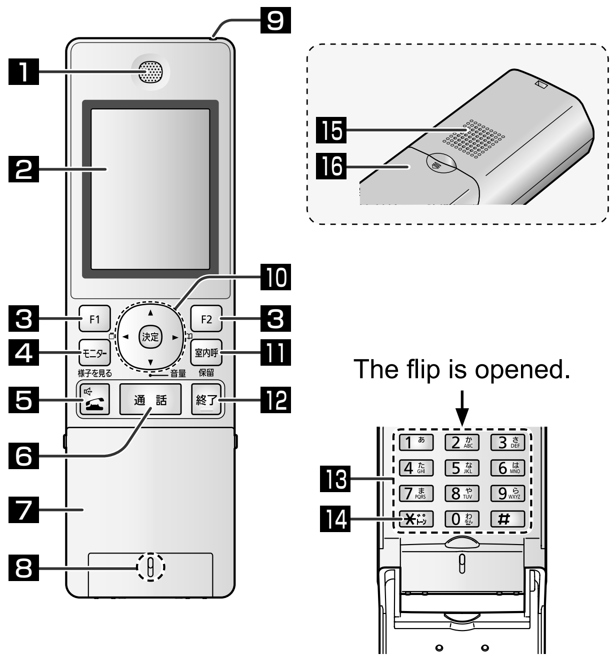
所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0513

Quick Reference Guide

Parts Descriptions

Sub Monitor Station

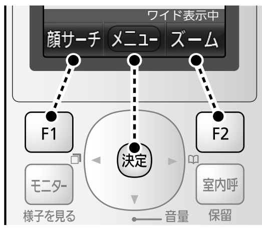


1. Earpiece
2. Display
3. Function button
4. Monitor button & indicator
5. Talk button & indicator (Telephone)
6. Talk button & indicator (Doorphone)
7. Flip
8. Microphone
9. Charge lamp
10. (Navigator) Navigator button
    (決定) Set button
11. Intercom/Hold button
12. OFF button
13. Numeral/Character buttons
14. Tone button (To switch to DTMF tone)
15. Speaker
16. Battery cover

■ Using (決定), [F1] or [F2]

Press (決定), [F1] or [F2] to select the feature shown directly above it on the display.

(Example)



Basic Operations

● The number after the button shows the location of the button described above.

Doorphone function

■ To answer a door call

When the ringer tone is heard and the display turns on, press [通 話] (6).

■ To monitor outside images

Press [モニター] (4).

(To talk to the visitor, press [通 話].)

● **When an optional camera or more than one optional doorphone is connected**

After press [モニター], select the desired doorphone using (Navigator) (10) and press (決定) (10).

Doorphone function

To monitor camera images

After press [モニター], select the desired camera using and press [決定].

To answer a call from a camera

When the ringer tone is heard and the display turns on, press [通話].

To record a displayed image manually

Press [決定] ([メニュー]) while monitoring an outside image. ➔ Select [録画] using , and press [決定].

To play back recorded images when 新着の未確認画像あり is displayed

Press [F1] ([録画一覧]) (3). ➔ Press [決定].
➔ Press [決定] again, then play back the images using .

To call the main monitor station

Press [室内呼] (11).※ ➔ Speak to the other party.
➔ After the other party answers, start talking.

● When more than one optional sub monitor station is registered

After pressing [室内呼], select [親機] using and press [決定].

To call another sub monitor station

Press [室内呼].※ ➔ Select the desired sub monitor station using , and press [決定].
➔ Speak to the other party. ➔ After the other party answers, start talking.

※ When the sub monitor station is registered to both the main monitor station and base unit (Telephone/Fax)

After pressing [室内呼], select [ドアホン室内呼] using , and press [決定].

Telephone function

To make a call

Lift the sub monitor station from the charger and press (5). ➔ Open the flip (7) and dial.......To end the call, press [終了] (12).

To receive a call

When the phone rings... ➔ Press .
➔ Talk.......To end the call, press [終了].

To switch to the speakerphone (Hands-free talk)

During a call, press for approx. 2 seconds. ➔ Talk to the microphone.

● To switch to the earpiece

Press for approx. 2 seconds again.

To place the current call on hold

Press [室内呼] during a call.

To retrieve the held call

Press .

To transfer the held call to the base unit

Press [室内呼] during a call. ➔ After pressing [F2] ([内線呼出]) (3), select [親機] using , and press [決定]. ➔ After the other party answers, press [終了].

To transfer the held call to another sub monitor station

Press [室内呼] during a call. ➔ After pressing [F2] ([内線呼出]), select the desired sub monitor station using , and press [決定].
➔ After the other party answers, press [終了].

さくいん

な 行

は 行

ま 行

や 行

ら 行

わ 行

機能設定の機能名から探す

機能設定の機能名をまとめて記載しています。

別売品（価格、ご注文については、お買い上げの販売店にお問い合わせください）

記載した情報は 2013 年 6 月現在のものです。内容は追加・変更になる場合があります。

製品名	品番
ワイヤレスモニター子機用電池パック※	KX-FAN55

※ お買い上げの販売店にてお取り寄せとなります。

■ 本機は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■ This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

本機は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。
本機を日本国外へ輸出する（技術の提供を含む）場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをおとりください。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://www.panasonic.com/jp/support/

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**（パナは 365日）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「230#」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187　■FAX フリーダイヤル 0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan　Tokyo (03) 3256-5444　Osaka (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**（パナは イイヨ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検　長年ご使用のワイヤレスモニター子機の点検を！

こんな症状はありませんか

● 電源を入れても動かないことがある。
● こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
● 電源プラグやコードが熱を持っている。
● その他の異常や故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

● 本機のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531　福岡市博多区美野島四丁目１番６２号

Printed in Vietnam　PNQX6010XA　PC0213MM2024